

消 防 年 報

令和 4 年版
(2022年)



西 宮 市 消 防 局

令和 5 年 (2023年) 刊行第71号

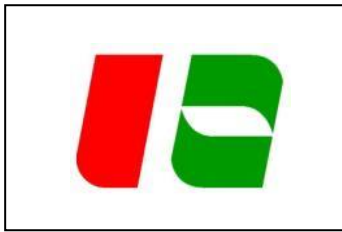
西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、令和4年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

令和5年（2023年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



目

次

令和4年度に実施した主な事業		総務	
消防局車両整備事業	9	総務の概要	47
消防庁舎整備事業	10	消防予算	48
消防団車両整備事業	10	一般会計予算と消防予算の推移	49
消防団車庫整備事業	10	消防予算市民負担の推移	49
概況		職員研修状況	
西宮市の消防	13	派遣研修（その1）	50
令和4年中の各種出動件数	13	派遣研修（その2）	52
各種出動状況	14	職場研修	53
緊急消防援助隊派遣状況	14	消防吏員階級別資格取得状況	54
火災、その他災害出動、救助出動、 救急出動件数の推移	15	公務災害等発生状況	55
西宮市消防の沿革	16	消防表彰等の状況	56
所属別情勢	33	消防音楽隊の状況	57
令和4年度重点目標	34	広報及び広聴	
消防局の組織及び事務分掌	35	広報及び広聴の概要	61
消防署の組織及び事務分掌	36	広報活動状況	61
職員配置状況	37	資料配布及び刊行物発行	62
年度別職員数状況	37	広聴事務処理状況	62
職員年齢状況	37	消防情報の提供（報道機関等）	62
職員勤続年数状況	37		
消防庁舎の概要	38		
消防自動車等保有状況	39		
消防情勢の推移	40		
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	41		
消防協力隊結成状況	41		
消防水利の状況	42		
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	42		
消防相互応援協定締結状況	43		
庁舎配置及び管轄区域	44		

予 防 行 政

予防行政の概要	65
防火対象物現況表	66
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	67
防火対象物査察・検査実施状況	68
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	69
防火管理に関する講習の実施状況	70
建築物確認申請等処理状況	70
12条報告・仮使用承認等処理状況	70
危険物製造所等設置許可数	71
危険物製造所等類別設置許可数	71
所属別危険物施設等現況及び査察状況	72
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	73
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	73
少量危険物・指定可燃物・ 液化石油ガス等届出施設状況	73
住宅防災診断実施状況	74
住宅防災診断指導件数	74

火 災 統 計

火災の概要	77
火災の状況	79
火災状況の推移	80
署別火災発生状況	80
月別火災発生状況	81
曜日別火災発生件数	82
時間別火災発生件数	82
覚知方法別火災発生件数	82
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	83
火災種別毎の損害額の割合(前年比較)	83

令和4年の出火原因	84
10年間の主な出火原因	84
放火件数の推移	85
放火の曜日別火災発生件数	85
放火の時間別火災発生件数	85
放火による着火物	85
主な火災発生状況	86
隣接都市火災応援(被応援)出動状況	86
高速道路における隣接都市 火災応援(被応援)出動状況	86
消防局消防活動状況	87

そ の 他 災 害 統 計

その他災害の概要	91
所属別その他災害発生状況	92

水 防 統 計

水防災害活動状況	95
----------	----

救 急 統 計

救急の概要	99
救急出動件数	100
救急出動件数・搬送人員の推移	100
事故種別出動件数及び搬送人員	101
事故種別出動件数の推移	101
事故種別傷病程度別搬送人員	102
傷病程度別搬送人員の推移	102
事故種別年齢区分別搬送人員	103
年齢区分別搬送者の推移	103
月別救急出動件数	104
曜日別救急出動件数	104
時間別救急出動件数	105
医療機関別搬送状況	106
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	106
現場到着及び病院収容所要平均時間	107
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	107
応急処置等の状況	108
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	108
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	109
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	109
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	109
熱中症による救急搬送状況の週別推移	110
熱中症による救急搬送状況の推移	110

救急出動状況	111
救急隊別出動状況	112
月別・曜日別救急出動状況	113
所属別救急講習出動状況	114
救急講習実施回数及び受講者数の推移	114

救 助 統 計

救助の概要	117
救助出動状況	118
発生場所別出動状況	119
月別救助出動状況	120
救助出動状況の推移	121
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	122
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	122
主な救助器具配置状況	123

消 防 通 信

指令業務の概要	127
消防通報用電話（119番）受信状況	129
消防通信施設の状況	130
気象情報等月別発令状況	131
発令された防災指令等	131
消防テレホンサービス利用状況	132

車 両 整 備

車両整備の概要	135
車両の購入	135
点検整備等	136

消 防 団

西宮市消防団の沿革	139
消防団の組織	141
消防団自動車現況	142
消防団員在職年数状況	143
消防団員年齢状況	143
消防団費と市民負担	144
消防団出動状況	144
消防団訓練実施内容	144
派遣研修及び教育訓練実施状況	144
公務災害等発生状況	145
団員の職業別	146
表 彰	146

令和4年度に 実施した主な事業



阪神地区消防長会警防練成会

消防局車両整備事業



消防ポンプ自動車(ポンプ車)
【浜分署】



消防ポンプ自動車(ポンプ車)
【甲東分署】



高規格救急自動車
【鳴尾消防署】



高規格救急自動車
【甲東分署】



査察広報車
【北消防署】

消防庁舎整備事業



西宮消防署 車庫・訓練棟

消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車【船坂分団】

消防団車庫整備事業



安井分団車庫

概 況



第50回消防救助技術近畿地区指導会技術訓練

西宮市の消防

(令和5年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1	(整備センター・消防訓練施設を含む)
消防署	4	
消防分署	4	
消防自動車等	79台	(非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1	(消防局庁舎内)
分団数	33	分団(7地区)
分団車庫	36	箇所
消防自動車等	39	台

消防職員

定数	522人
実員	479人(うち女性12人)
	※派遣職員25人(うち女性1人)を除く

消防団員

定員	755人
実員	682人(うち女性13人)

《令和5年度消防予算》

62億7,765万1千円

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	109人(うち女性1人)
団員	435人(うち女性12人)
機能別団員	24人

令和4年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	77件
(令和3年中)	81件
西宮市で4.7日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	8,683万9千円
(令和3年中)	1億7,153万4千円
火災1件あたりの損害額は112万8千円となり、市民1人あたりでは179円になります。	

死傷者	[死者 2人]
	[負傷者 23人]

令和3年中	[死者 5人]
	[負傷者 8人]

《その他災害》

その他災害出動件数	1,095件
(令和3年中)	1,060件

《救急》

救急出動件数	26,468件
(令和3年中)	22,230件
西宮市で1日平均72.5件出動したことになります。	

	(令和4年中)	(令和3年中)
1 急病	17,535件	14,269件
2 一般負傷	4,576件	3,806件
3 交通事故	1,584件	1,476件
4 上記以外	2,773件	2,679件
となっています。		

《救助》

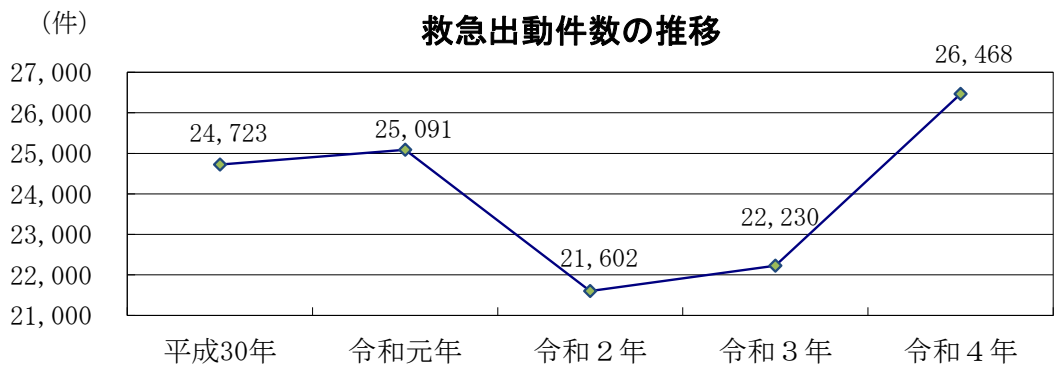
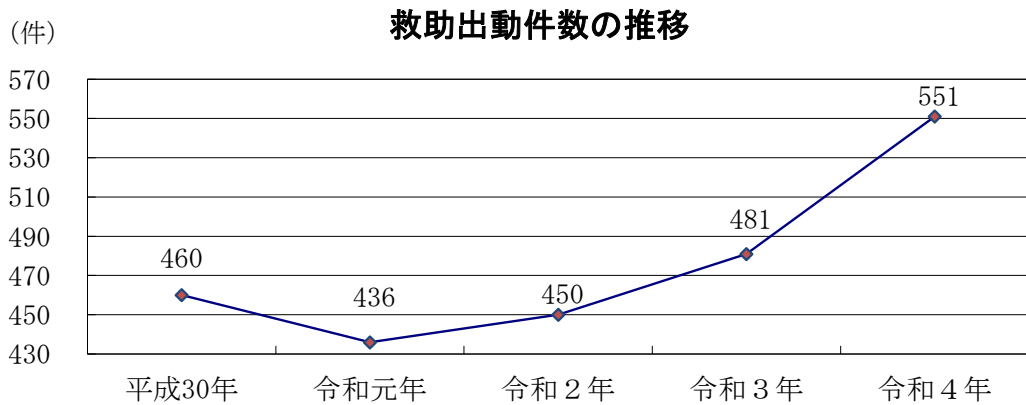
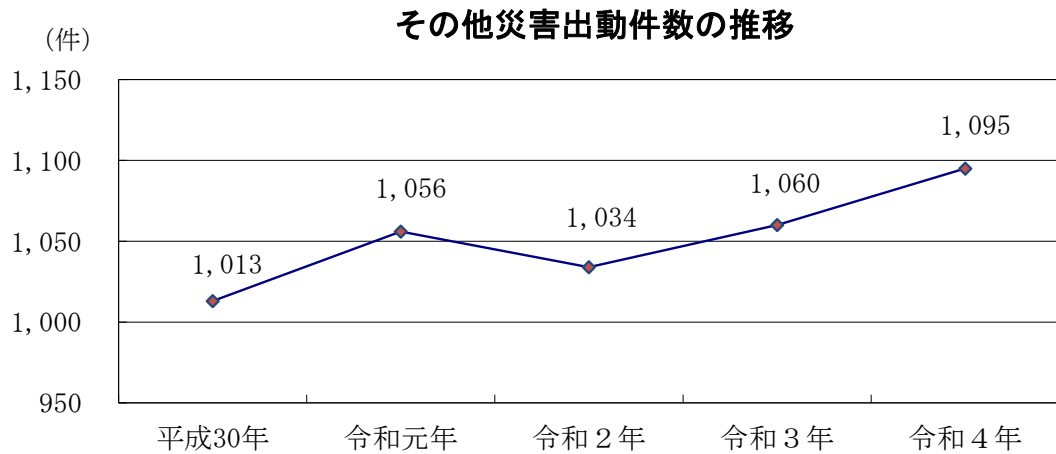
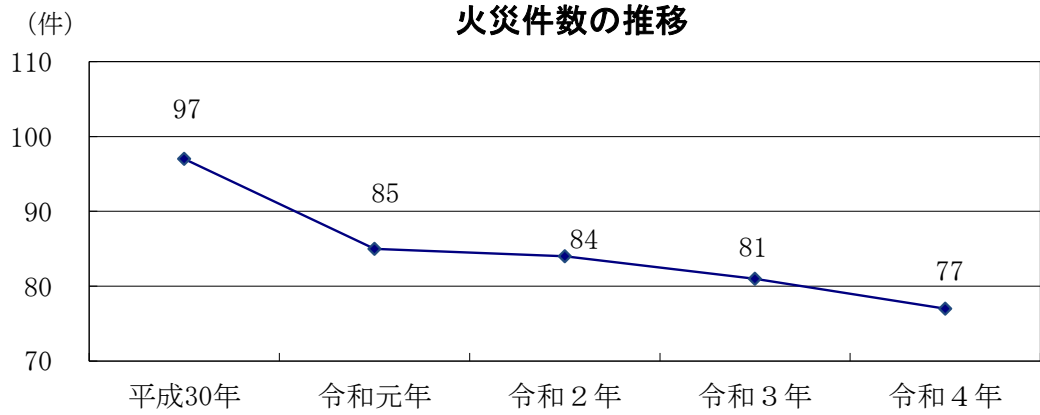
救助出動件数	551件
(令和3年中)	481件

各種出動状況

種 別		件数等	出動台数	出動人員	
緊 急 出 動 業 務	火 災	火災件数	77	306	1,116
		死 者 (人)	2		
		負 傷 者 (人)	23		
		1日当りの火災件数	0.2		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	1,095	1,401	5,209
		緊急措置	156		
		緊急確認	375		
		支援活動	197		
		その他	91		
		補完	276		
	救 助 出 動	救助出動件数	551	1,250	4,471
		救助人員 (人)	277		
		1日当りの救助出動件数	1.5		
	救 急 出 動	救急出動件数	26,468	26,468	79,475
		傷病者搬送人員 (人)	23,401		
		ドクターカー出動件数	45		
1日当りの救急出動件数		72.5			
合 計		28,191	29,425	90,271	

緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
該当なし			



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 その他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台でもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、市役所の屋上に高所カメラを、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長3課11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機構改革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長一次長4課12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く

	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防 査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の 条件整備を図る
昭和50年	42 m はしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を 配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、 2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救 助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署 1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図っ た
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消 防局瓦木分室（救急救助課）が運用していた救急車を配置 替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課 に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局（本局）に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導 係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張 所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3 消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替えのため鳴尾町2丁目所属照寂公園に 仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の 発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技 術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42 m はしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工（旧庁舎敷地跡）
	定 数 改 正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機 構 改 革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図 る

	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防音楽同好会の発足	1月	消防音楽同好会の発足
	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足

	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始

	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置 (～平成7年1月)
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	(1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入 (以降、ポンプ車に順次整備)
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置

平成8年	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	平成9年	高度救助用器具の導入	8月
計 測 震 度 計 の 設 置		8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
災害対応ネットワークの運用		9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
西宮市消防協力隊の結成		10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
救 急 救 命 士		10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
広域災害救急医療情報システム		12月	広域災害救急医療情報システム（EMIS）の運用開始
全 国 共 通 波 の 整 備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設	

	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視
	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
平成10年	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を経由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
平成11年	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
平成12年	機構改革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設
	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成13年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター（課）を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署の消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	専任救助隊の発足	4月	西宮消防署の特別救助隊を専任救助隊として配置した
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した
	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定 数 改 正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服 制 改 正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品を更新）
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体 制 確 立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス(NEMIS)ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス(NEMIS)ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した(平成28年12月から文書管理システムに移行)
	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した

	支 援 車 配 置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置〔水難救助・BC災害・空気充填機〕）を配置
平成17年	救 急 隊 の 増 隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故 に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材〔野営テント他〕）を配置
	携 帯 電 話 か ら の 119 番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査 察 体 制 の 強 化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足
平成18年	全 国 共 通 波 の 整 備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬 剤 投 与 認 定 救 命 士 の 資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消 防 学 校 教 官 派 遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊 の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予 防 技 術 資 格 者 の 認 定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した（以降、順次認定）
	A E D 貸 出 事 業 開 始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
	35 m は し ご 車 配 置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車が完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成19年	備品管理システム運用 開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全 国 共 通 波 の 整 備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定 数 改 正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市 長 事 務 部 局 へ の 出 向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅 費 管 理 シ ス テ ム の 導 入	4月	旅費管理システムを導入した
	A E D 設 置 事 業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
	救 急 波 の 更 新 整 備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	キ ャ プ ス 装 置 の 導 入	2月	ポータブルキャプス「武蔵」を導入
	消 防 音 楽 隊 20 周 年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会（中核市移行記念）を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地 震 警 報 器 の 導 入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置

平成21年	高度救助隊の発足	7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊として配置した
	キャブ装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャブ装置を導入（以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備）
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
	機構改革	4月	消防局長一次長－6課－17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した
	本部指揮隊の発足	4月	消防課に本部指揮隊を配置した
	乗換運用の解消	4月	西宮消防署北夙川分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	自主防災組織の移管	4月	自主防災組織関連事務を消防局から防災・安全局に移管した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
平成22年	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	AED設置施設表示制度	5月	AED設置している民間事業所に、そのAEDの一般使用について協力を依頼し、AED設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
平成23年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
平成23年	機構改革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した
	北部指揮隊の発足	4月	北消防署に北部指揮隊を配置した

	車両配置の再編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消防緊急情報システム更新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) Web119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(AVM装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防OA支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防OA支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入
平成24年	山口分署車庫増築	8月	山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機構改革	4月	課長補佐級制度の廃止(役名は当分の間残置)及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
平成25年	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成26年	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	乗換運用の解消	4月	鳴尾消防署浜分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	機構改革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
平成27年	阪神医療福祉情報ネットワーク	4月	「h-Anshin むこねっと」二次救急システムの運用開始
	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した
	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	通訳サービスの導入	4月	119番通報に三者通話による通訳サービスを導入
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
平成28年	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
	指導的立場の救命士	2月	指導的立場の救命士制度を導入した
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日の間、11隊39人を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
平成29年	S P D 方式の導入	8月	労務負担や資機材管理リスクの軽減を図るため、救急資機材管理供給システムとしてS P D方式を導入
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した

平成30年	西宮消防70周年記念 フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行了した
	消防研究センター派遣	4月	総務省消防庁消防大学校消防研究センターへ職員を派遣した（2年間）
	緊急通報システム	4月	NET119緊急通報システムの運用を開始した
	予防技術資格者区分の変更	5月	予防技術資格者区分をエキスパートとスペシャリストの2区分に変更した
	緊急消防援助隊出動	7月	平成30年7月豪雨への緊急消防援助隊として、7月12日から7月20日の間、4隊12人を広島県広島市安芸区上瀬野町に派遣した
	消防訓練施設の竣工	11月	西宮市甲子園浜2丁目10番地に西宮市消防訓練施設を竣工、運用開始
平成31年 (令和元年)	書籍化	2月	「消防活動教本」として警防活動教本を書籍化
	機構改革	4月	参事及び高度救助隊を担当する係長を配置した (1) 西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に課長級職員の参事を配置し、組織図上の表記を参事（警防第1担当）又は参事（警防第2担当）とした (2) 西宮消防署に高度救助隊を担当する係長を配置した (3) 課長補佐の役名を廃止した
	乗換運用の解消	4月	瓦木消防署甲東分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品と救急防護服を更新）
	災害医療センター職員派遣	4月	兵庫県災害医療センターへ職員を派遣した
	高機能救命ボートを導入	5月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署に高機能救命ボートを導入
令和2年	書籍化	1月	「救急KYTシート」を書籍化
	山口分署改修工事	3月	北消防署山口分署の事務室及び駐車場敷地改修工事を完了した
	指導救命士制度導入	3月	指導的立場の救急救命士として指導救命士制度を導入した
	機構改革	4月	西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に配置している参事に担当課長の役名を付し、また、北消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	乗換運用の解消	4月	北消防署山口分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	消防大学校派遣	4月	総務省消防庁消防大学校へ教官を派遣した（以降、派遣を継続）

令和3年	搬送用アイソレーター装置の導入	12月	感染防止対策として搬送用アイソレーター装置を導入し、西宮消防署に配置した
	機 構 改 革	4月	(1) 総務部企画課に施設整備係を新設した (2) 瓦木消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	救 急 隊 の 増 隊	4月	救急需要及び新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年度に限定した配置体制として、瓦木消防署甲東分署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用とした
	西宮市役所第二庁舎竣工	4月	西宮市六湛寺町8番28号に西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）竣工
	消 防 局 の 移 転	4月	西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）に消防局（消防本部）を移転し4月26日運用開始
	消防緊急情報システム更新	4月	平成23年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 防災情報システムとの連携機能を導入 (2) 指令台を増台し、ディスプレイを4画面構成に機能強化 (3) 高所カメラを増設（南部2台、北部1台） (4) 無人航空機（ドローン）を導入 (5) 車載カメラ、タブレット及びウェアラブルカメラによる情報共有機能を強化 (6) Eメール指令装置を機能強化 (7) 消防団FAX指令装置を導入 (8) 可搬型指令システムを導入 (9) リモート指令システムを導入
令和4年	電話リレーサービス	7月	119番通報に電話リレーサービスの活用を開始
	搬送用アイソレーター装置の導入	9月	感染防止対策として搬送用アイソレーター装置を導入し、鳴尾消防署に配置した
	L i v e 119 の 導 入	10月	映像通報システム（L i v e 119）の運用を開始した
	西宮消防署消防庁舎棟竣工	12月	西宮市津門大塚町1番32号に西宮消防署消防庁舎棟竣工、令和4年2月8日運用開始
	鑑識室・危険物測定室運用開始	2月	西宮消防署消防庁舎棟運用開始と併せて、鑑識室・危険物測定室の運用を開始した (1) X線透過検査装置導入 (2) デジタルマイクロスコープ導入
	瓦木消防署改修工事	3月	瓦木消防署の改修工事を完了した（救急仮眠室を増設）
	人員搬送車の更新	3月	人員搬送車を緊急車両として更新し、運用を開始した
	高度救助隊の専従化	4月	西宮消防署の高度救助隊が市内全ての建物火災に出動する体制とした
車 両 配 置 の 再 編	4月	(1) 瓦木消防署甲東分署における救急隊1隊の増隊配置を終了し、瓦木消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した (2) 瓦木消防署における大型車両の駐車位置確保による庁舎の狭あい化を防ぐため、西宮消防署に化学車を配置替えした	
	西宮消防署車庫・訓練棟竣工	11月	西宮消防署車庫・訓練棟（潜水プール含む）竣工、令和4年12月1日全面運用開始

令和5年	ポンプ隊の増隊	4月	鳴尾消防署浜分署にポンプ隊1隊を配置し、全署において基本消防戦術がとれる体制を整えた
------	---------	----	--

所 属 別 情 勢

(令和5年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面	積	100.18 km ²		
人	口	482,226 人		
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,007 人		
世 帯 数		227,794 世帯		
消 防 吏 員 1 人 当 り		476 世帯		
防 火 対 象 物 数		12,264 対象		
消 防 水 利 数		6,076 個		
消 防 吏 員 数		479 人		
保 有 車 両 数		79 台		
危 険 物 施 設 数		258 施設		
		局74人(うち女性3人)を含む 局20台を含む		
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面	積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²
人	口	164,579 人	101,388 人	63,191 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,444 人	1,352 人	1,620 人
世 帯 数		79,827 世帯	51,870 世帯	27,957 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		700 世帯	692 世帯	717 世帯
防 火 対 象 物 数		4,638 対象	3,356 対象	1,282 対象
消 防 水 利 数		2,071 個	1,224 個	847 個
消 防 吏 員 数		114 人 (うち女性3人)	75 人 (うち女性3人)	39 人
消 防 車 両 数		16 台	11 台	5 台
危 険 物 施 設 数		53 施設	47 施設	6 施設
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面	積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²
人	口	136,434 人	101,685 人	34,749 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,378 人	1,695 人	891 人
世 帯 数		66,056 世帯	50,377 世帯	15,679 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		667 世帯	840 世帯	402 世帯
防 火 対 象 物 数		3,240 対象	2,342 対象	898 対象
消 防 水 利 数		1,635 個	1,107 個	528 個
消 防 吏 員 数		99 人 (うち女性2人)	60 人 (うち女性2人)	39 人
消 防 車 両 数		15 台	9 台	6 台
危 険 物 施 設 数		122 施設	52 施設	70 施設
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面	積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²
人	口	138,890 人	90,808 人	48,082 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,432 人	1,566 人	1,233 人
世 帯 数		62,644 世帯	41,376 世帯	21,268 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		646 世帯	713 世帯	545 世帯
防 火 対 象 物 数		3,452 対象	2,436 対象	1,016 対象
消 防 水 利 数		1,518 個	894 個	624 個
消 防 吏 員 数		97 人 (うち女性2人)	58 人 (うち女性2人)	39 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		26 施設	18 施設	8 施設
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面	積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²
人	口	42,323 人	26,126 人	16,197 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		446 人	467 人	415 人
世 帯 数		19,267 世帯	11,315 世帯	7,952 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		203 世帯	202 世帯	204 世帯
防 火 対 象 物 数		934 対象	324 対象	610 対象
消 防 水 利 数		852 個	470 個	382 個
消 防 吏 員 数		95 人 (うち女性2人)	56 人 (うち女性2人)	39 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		57 施設	19 施設	38 施設

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員数は、再任用、兵庫県消防学校（教官・初任教育・救急救命士）及び県防災航空隊派遣、市出向を含まない

令和 4 年度 重点目標

令和4年度は第5次西宮市総合計画の4年目となることから、基本計画の中間見直しを見据えて各施策の進捗状況等を検証するとともに、行政経営改革の意識を持ち、機能的かつ効果的な消防行政の運営に努める。

また、新型コロナウイルス感染症対策として必要な施策については、引き続き適切に実施していくものとし、様々な危機事案の発生に際しても、BCP（業務継続計画）や各種行動計画等に基づき、柔軟かつ迅速に対応していく。

消防体制の強化としては、職員定数の充足に取り組み、社会情勢の変化や未知の災害にも柔軟に対応できる人と組織づくりを推進するとともに、服務規律の確保をより一層徹底して不祥事の根絶に取り組む。また、災害対応能力の強化を図るため、高度救助隊の専従化をはじめ救助体制の充実に取り組みとともに、本市の基幹消防署である西宮消防署については、令和4年2月に運用開始の消防庁舎棟に引き続き、車庫・訓練棟の建設工事を進め、令和4年11月末の完成を目指す。さらに、医療機関と連携した救命の拠点施設となる救急ワークステーションについて、「西宮総合医療センター（仮称）」敷地内での整備に向けた取組を進める。

火災予防の推進としては、火災調査体制の充実を図るため、西宮消防署の鑑識室・危険物測定室を有効に活用し、火災原因の一層の究明に取り組み、類似火災の発生を防ぐ効果的な火災予防広報に繋げる。また、住宅用火災警報器の設置及び維持管理など、住宅火災対策を促進するとともに、計画的に予防査察を実施し、防火対象物や危険物施設の実態把握に努め、適切な指導を徹底する。

救急活動の充実としては、救急需要への対策として、瓦木消防署での救急隊2隊運用を開始する。また、救急業務を安定的かつ持続的に実施するため、救急教育体制を充実させ、救急業務の高度化を図るとともに、救命効果を高めるため、応急手当の普及啓発を推進する。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

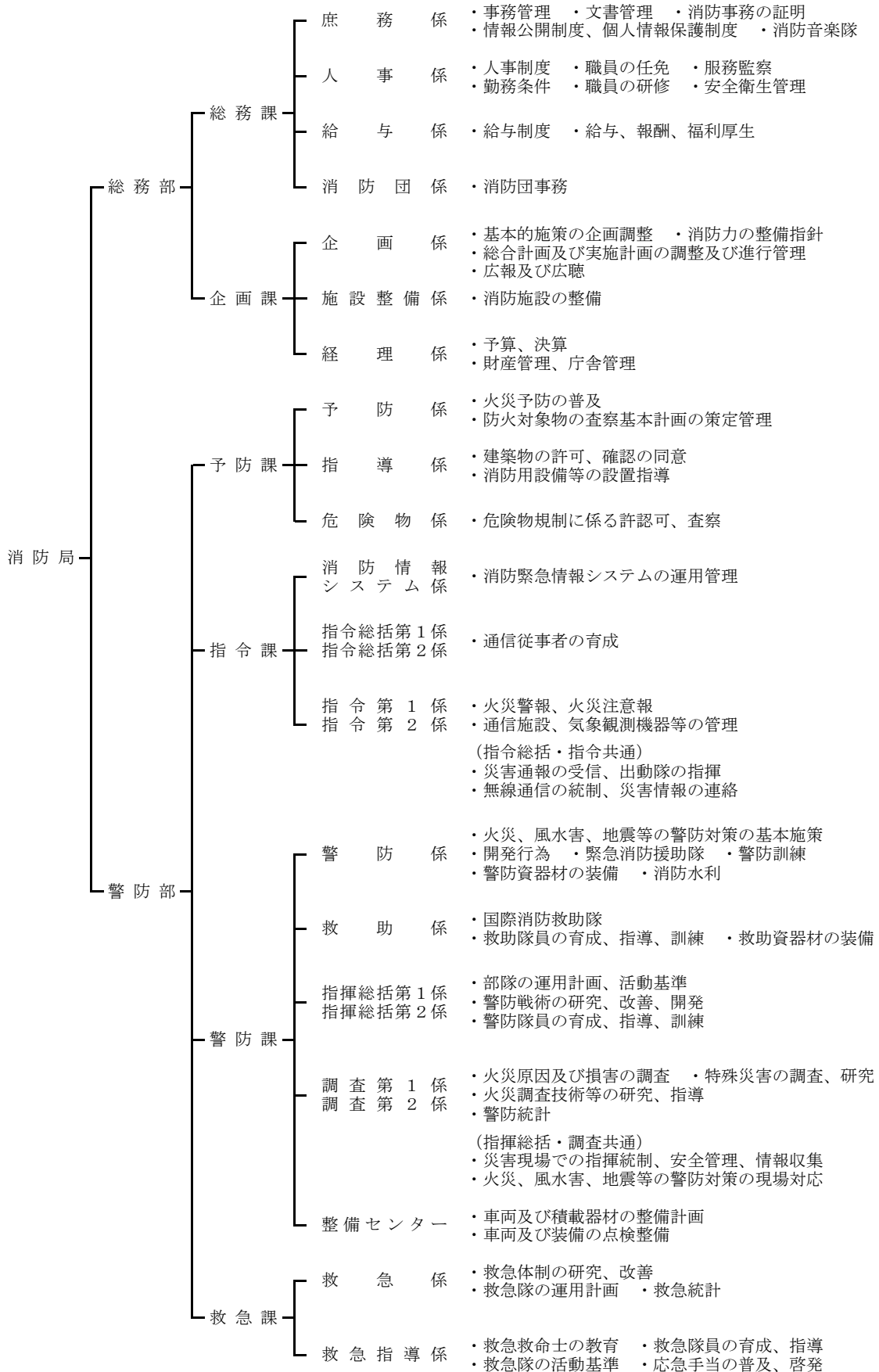
（ 重 点 目 標 ）

消防体制の強化	1 人材育成の推進 2 服務規律の確保 3 災害対応能力の強化
火災予防の推進	1 火災予防広報の推進 2 火災調査体制の充実 3 予防査察体制の強化
救急活動の充実	1 救急教育体制の充実 2 救急業務の高度化 3 応急手当の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

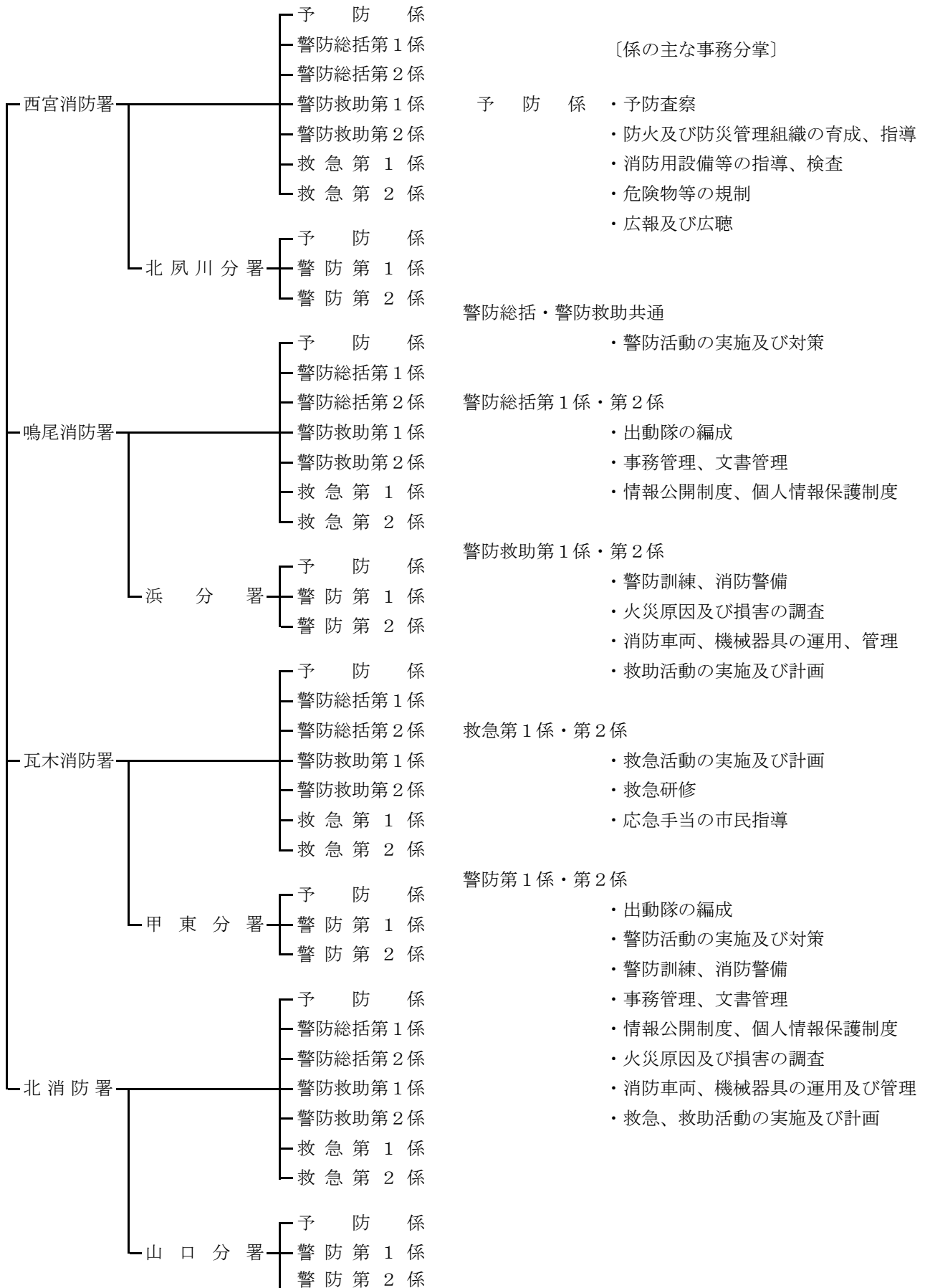
(令和5年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(令和5年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(令和5年4月1日現在)

所 属 区 分	消 防 局									西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
	局 長	総 務 部			警 防 部					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課								
配 置 人 員 (うち女性)	1	1	11 (1)	7	1	7 (1)	22 (1)	19	5	75 (3)	39	60 (2)	39	58 (2)	39	56 (2)	39
小 計 (うち女性)	1	19 (1)			54 (2)					114 (3)	99 (2)	97 (2)	95 (2)				
計 (うち女性)	479 (12) (派遣職員25名(1)を除く)																

年 度 別 職 員 数 状 況

(令和5年4月1日現在)

区 分	年 度									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
職 員 数	443	434	441	449	463	477	484	495	504	
採 用	17	14	18	23	18	19	17	20	20	
退 職	23	11	15	4	5	10	9	11		

職 員 年 齢 状 況

(令和5年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	5	64	71	82	109	63	48	37	25

※ 職員平均 36歳2月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(令和5年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	89	77	133	65	44	48	31	14	3

※ 職員平均 14年3月

消防庁舎の概要

(令和5年4月1日現在)

庁舎名	所在地	建築年月	経過	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市六湛寺町8番28号 西宮市役所第二庁舎 (危機管理センター) 1階～3階	2021.4 (令和3.4)	2年0ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上12階建 地下1階 免震構造(中間免震)	2,435.51㎡	16,617.00㎡ のうち 消防局部分 2,529.08㎡
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1987.3 (昭和62.3)	36年1ヶ月	鉄骨造 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮市消防 訓練施設	西宮市甲子園浜2丁目 10番地	2018.10 (平成30.10)	4年6ヶ月	鉄筋コンクリート造 A棟(7階建) B棟(2階建) C棟(2階建)	8,814.89㎡	963.81㎡ A棟(571.81㎡) B棟(296.00㎡) C棟(96.00㎡)
西宮消防署	西宮市津門大塚町 1番32号	2021.12 (令和3.12)	1年4ヶ月	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 5階建 免震構造(基礎免震)	3,811.37㎡	3,659.77㎡
		2022.11 (令和4.11)	0年5ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建		587.67㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町 4番4号	1984.3 (昭和59.3)	39年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町 2番12号	1980.3 (昭和55.3)	43年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		2011.2 (平成23.2)	12年2ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1999.10 (平成11.10)	23年6ヶ月	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町 15番11号	1988.9 (昭和63.9)	34年7ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 瓦木消防署部分 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上ヶ原一番町 1番64号	2018.1 (平成30.1)	5年3ヶ月	鉄骨造 3階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北消防署	西宮市名塩新町 7番地1	1991.3 (平成3.3)	32年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目 1番20号	1985.3 (昭和60.3)	38年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡

消防自動車等保有状況

(令和5年4月1日現在)

車種別 所属別		合計	ポンプ車	タンク車	はしご車	化学車	救助工作車	活動支援車	救急車	司令車	指揮車	指揮広報車	査察広報車	人員搬送車	防火指導車	連絡車	可搬式動力ポンプ
計		79	10	9	4	2	4	16	14	1	2	3	8	2	1	3	25
消防局	消防局	11						5		1	1			1	1	2	3
	整備センター	9	(2)	(1)		(1)		1	(3)							1	2
西宮	本署	11	1	1	1	1	1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				3
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6	1	1				1	1				1	1			2
瓦木	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				3
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

※ ()は非常用車両

消防情勢の推移

(令和5年4月1日現在)

区分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消 防 職 員 数 (条 例 定 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成21年 (2009年)	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年 (2010年)	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年 (2011年)	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年 (2012年)	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年 (2013年)	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年 (2014年)	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年 (2015年)	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年 (2016年)	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年 (2017年)	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年 (2018年)	484,152	220,123	100.18	522	76	97	146,023	24,723	460
令和元年 (2019年)	483,713	221,382	100.18	522	76	85	33,560	25,091	436
令和2年 (2020年)	483,744	222,844	100.18	522	77	84	137,772	21,602	450
令和3年 (2021年)	483,641	224,624	100.18	522	77	81	171,534	22,230	481
令和4年 (2022年)	482,204	225,568	100.18	522	78	77	86,839	26,468	551
令和5年 (2023年)	482,226	227,794	100.18	522	79	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(令和5年4月1日現在)

区分 署別	家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織	
	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)	
西宮消防署	小計	3	36	4	277		53	
	本署	2	24	2	84		30	
	北夙川	1	12	2	193		23	
鳴尾消防署	小計	2	20	4	243	1	25	30
	本署	2	20	4	243	1	25	14
	浜							16
瓦木消防署	小計	2	31	4	228			73
	本署	1	14	3	202			31
	甲東	1	17	1	26			42
北消防署	小計	3	64	3	102			71
	本署	2	51	1	43			58
	山口	1	13	2	59			13
合計	10	151	15	850	1	25	227	

消防協力隊結成状況

(令和5年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	伊藤ハム米久フーズ株式会社 西宮工場	10
2	新明和工業株式会社	10
3	JFEアドバンテック株式会社	10
4	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
5	日本盛株式会社	10
6	株式会社指月電機製作所	34
7	大関株式会社	120
8	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	57
9	辰馬本家酒造株式会社	6
10	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	210
11	ロジスティードコラボネクスト株式会社 近畿営業所	10
12	医療法人 明和病院	10
13	鳴尾浜連絡会	300
14	株式会社甲子園オートセンター	10
15	阪急バス株式会社 山口営業所	10
16	読売ゴルフ株式会社	23
17	西宮浜産業団地協議会	741
18	一般社団法人 西宮市医師会	10
19	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
20	学校法人 関西学院	100
21	阪神流通センター協同組合連合会	97
22	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
23	株式会社 戸崎組	10
24	第一建設機工株式会社	6
25	徳山土木株式会社	20
合計	25団体 (事業所)	1,929

消防水利の状況

(令和5年4月1日現在)

種 別		区 分	令 和 3年度末	令和4年度			所 属 別			
				増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満	1,935		3	1,932	741	429	458	304
		150mm以上	1,917	2		1,919	660	493	512	254
	私 設		169		1	168	13	79	70	6
	工 水		95			95	26	69		
小 計			4,116	2	4	4,114	1,440	1,070	1,040	564
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満	58			58	18	10	13	17
		40m ³ 以上	395		1	394	98	84	76	136
		60m ³ 以上	8			8	2	1	4	1
		100m ³ 以上	46		1	45	15	13	8	9
	私 設	40m ³ 未満	26		2	24	10	3	7	4
		40m ³ 以上	857	3	7	853	288	264	233	68
		60m ³ 以上	75	4	1	78	29	29	14	6
		100m ³ 以上	75	1		76	16	40	15	5
小 計			1,540	8	12	1,536	476	444	370	246
消 防 用 水	40m ³ 未満		1			1		1		
	40m ³ 以上		17			17	2	9		6
	60m ³ 以上		18			18	6	11	1	
	100m ³ 以上		28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設		11		1	10	6	4		
	私 設		9			9	2	7		
貯 水 槽	公 設									
	私 設		119	1	1	119	62	21	27	9
そ の 他 の 水 利	受 水 槽		22			22	11	5	4	2
	河 川		91	1		92	33	12	36	11
	海 水		8			8		8		
	池		17			17	6	5	2	4
	プ ー ル		82	2		84	24	28	24	8
	マンホール		1			1		1		
	溝 水									
合 計			6,080	14	18	6,076	2,071	1,635	1,518	852

開発行為に伴う消防水利事務処理状況

開発件数	33	水利あり	水利なし	開発事前協議	101					
		7	26							
消 防 水 利										
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利			
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 ル 水 口	池	そ の 他
小計			3	2	1			2		
合計			8							

消防相互応援協定締結状況

(令和5年4月1日現在)

名称	締結都市等	応援区域	締結年月日
7市1町消防相互応援に関する覚書	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	各市町全域	平成13年3月1日
兵庫県道高速北神戸線上の消防相互応援に関する覚書	宝塚市	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域	平成15年4月21日
兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	尼崎市	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	平成6年3月15日
	芦屋市	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	平成6年3月25日
名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)	尼崎市・豊中市	西宮IC、豊中IC間の名神高速道路上	昭和39年8月31日 (協定) 昭和39年9月5日 (覚書)
神戸市・西宮市消防相互応援協定(同覚書)	神戸市	西宮市、神戸市域	平成19年1月18日 (協定) 平成19年1月18日 (覚書)
中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	中国道のうち兵庫県の区域	平成27年9月26日 (協定) 平成29年2月6日 (覚書)
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	各市全域	平成26年1月31日 (協定) 平成26年1月31日 (覚書)
兵庫県広域消防相互応援協定(同覚書)	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	兵庫県下	平成25年10月23日 (協定) 令和5年3月7日 (覚書)
山陽自動車道消防相互応援協定(同覚書)	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	神戸JCTから備前ICまでの区間(三木JCTから神戸西ICまでの区間及び播磨自動車道を含む)	平成30年4月1日 (協定) 平成29年2月6日 (覚書)
近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、猪名川町、宝塚市、三田市、神戸市	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域	平成30年3月18日 (協定) 平成30年3月18日 (覚書)
大阪市、西宮市消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、西宮市	兵庫県道高速大阪西宮線下り尼崎市、西宮市境界から西宮入口までの区域 大阪府道高速湾岸線上り大阪市、尼崎市境界から中島入口までの区域	令和4年3月18日 (協定) 令和4年3月18日 (覚書)

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



西宮消防署北夙川分署



瓦木消防署



西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）
西宮市消防局



西宮消防署



鳴尾消防署



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署



西宮市消防訓練施設

総

務



令和5年 西宮市消防出初式

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車2台及び査察広報車1台を更新し、消防ポンプ自動車1台を増車するとともに、資機材では、高度救助用資機材1式等を整備し、消防力の充実強化を図った。

消防庁舎等整備事業として、西宮消防署については、令和4年2月に運用開始の消防庁舎棟に引き続き、車庫・訓練棟が完成し、令和4年12月に運用を開始した。また、鳴尾消防署浜分署改修工事を行うとともに、救急ワークステーションについては、（仮称）西宮総合医療センター敷地内での整備に向けた取組を進めた。

消防団車両等整備事業として、消防ポンプ自動車1台を更新した。

消防団車庫整備事業として、夙川分団車庫の建替工事に伴う基本計画を策定するとともに、安井分団車庫建替工事を実施し、消防団の体制整備に努めた。

2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中であっても、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校や兵庫県消防学校、救急救命士養成課程等、必要な研修へ消防職員を派遣するとともに、潜水士等消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣し、組織力の維持向上に努めた。加えて、市研修厚生課主管の研修等へも消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した令和4年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、感染防止対策を徹底しながら、教養研修等の職場研修を行い、職員個々の能力開発に努めた。さらに、服務規律の確保を徹底させるために、コンプライアンス研修、モチベーション研修等、外部講師を招いた研修を実施し、必要な知識の習得に努めた。

3 事務管理

消防行政の公正な運営を確保するため、西宮市消防文書取扱規程及び関係条例等に基づき、適正な文書管理に努めた。

また、職員用ノートパソコン等、OA機器の効果的な配置及び文書管理システムの有効活用により、適正な事務管理に努めた。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	増 減
消防費	6,277,651	7,071,686	△ 794,035
消 防 費	5,510,240	5,471,229	39,011
職 員 の 給 与 費	4,692,242	4,678,021	14,221
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費	21,900	23,244	△ 1,344
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費	119,747	118,774	973
通 信 指 令 業 務 経 費	371,432	372,978	△ 1,546
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費	89,304	82,632	6,672
消 防 活 動 業 務 経 費	44,732	15,721	29,011
救 助 活 動 業 務 経 費	6,021	5,810	211
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費	68,098	66,416	1,682
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費	558	1,190	△ 632
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費	1,869	1,782	87
救 急 活 動 業 務 経 費	32,821	35,481	△ 2,660
一 般 事 務 経 費	61,516	69,180	△ 7,664
消 防 団 費	131,662	137,097	△ 5,435
消 防 団 運 営 事 業 経 費	125,350	130,225	△ 4,875
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費	6,312	6,872	△ 560
消 防 施 設 整 備 費	566,968	1,394,647	△ 827,679
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費	21,931	21,095	836
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費	15,000	78,796	△ 63,796
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費	19,487	1,041,451	△ 1,021,964
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費	437,850	208,200	229,650
消 防 水 利 等 整 備 事 業 費	65,000	39,000	26,000
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費	7,700	6,105	1,595
水 防 費	68,781	68,713	68
水 防 対 策 事 業 経 費	68,781	68,713	68

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

年度別		区分	市一般会計	消防費	比 率
			(千 円)	(千 円)	(%)
平成26年度	当 初 予 算		167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算		167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算		174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算		170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算		174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算		166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算		176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算		169,364,942	6,190,503	3.66
平成30年度	当 初 予 算		178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算		172,675,344	6,003,544	3.48
令和元年度	当 初 予 算		184,073,481	5,725,540	3.11
	決 算		175,091,370	5,487,523	3.13
令和2年度	当 初 予 算		193,080,562	6,601,294	3.42
	決 算		235,208,367	6,179,310	2.63
令和3年度	当 初 予 算		193,856,204	7,839,879	4.04
	決 算		204,934,201	7,473,661	3.65
令和4年度	当 初 予 算		195,828,360	7,071,686	3.61
	決 算		(未決算)	(未決算)	(未決算)
令和5年度	当 初 予 算		195,231,848	6,277,651	3.22
	決 算		-	-	-

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

年度別		消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
					市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成26年度		6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度		5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度		5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度		6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821
平成30年度		6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270
令和元年度		5,725,540	483,713	221,382	11,837	25,863
令和2年度		6,601,294	483,744	222,844	13,646	29,623
令和3年度		7,839,879	483,641	224,624	16,210	34,902
令和4年度		7,071,686	482,204	225,568	14,665	31,351
令和5年度		6,277,651	482,226	227,794	13,018	27,558

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和4年度中)

階 級 研 修 名		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	
消 防 大 学 校	緊急消防援助隊科	指揮隊長コース	1	1					
		高度救助・特別高度救助コース	1		1				
	総合教育	幹部科	1		1				
		消防大学校特別講習会	1			1			
県 消 防 学 校	初 任 教 育		19				19		
	専 科 教 育	救助科	3				3		
		警防科	3				3		
		救急科	16					16	
		火災調査科	2			2			
		特殊災害科	3			3			
		危険物科	3				3		
	幹部教育	中級幹部科	3		3				
	そ の 他	惨事ストレス研修		2		2			
		山岳用救助器具取扱技術研修		2			1	1	
	救急救命士養成課程		3			2	1		
	指導救命士養成研修		1		1				
	ビデオ喉頭鏡追加講習		14			2	4	8	
令和4年度消防職員安全衛生管理研修会			2	2					
消防職員のための惨事ストレスの理解と予防(ステップアップ)研修			2	2					
令和4年度消防長研修会			1	1					
ハラスメント等相談窓口相談員向けWeb研修会			1		1				
メンタルヘルス～セルフケア研修			2		1	1			
課長級職員必修研修「ハラスメント防止研修」			23	23					
令和4年度法制・広報研修会			2			2			
令和4年度消防実務講習会			19	1	7	11			
わかりやすいホームページコンテンツづくり研修			2			1	1		
女性消防吏員の更なる活躍推進に係る管理職員を対象としたオンライン研修会			1		1				
シティブロモーション型広報研修			1			1			
2級小型船舶操縦士免許試験受験及び準備講習会			1				1		
2級小型船舶操縦士免許更新講習			2			1	1		
大型自動車第一種免許取得のための教習			3				1	2	
中型自動車第一種免許のための教習			3				1	2	
小型移動式クレーン運転技能講習			1					1	
潜水士免許試験受験			1					1	
第一種衛生管理者試験受験			1	1					
3級自動車シャシ整備士講習会及び受験			1		1				
令和4年度総務実務研修会及び消防財政実務研修会			2		1	1			

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和4年度中)

階 級	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 名							
県下防火対象物関係違反是正事例研究会	1			1			
違反是正事例発表会	6		1	1	3	1	
日本火災学会研究発表会	1		1				
建築防火・防災WEB講習	1			1			
令和4年度消防用設備等講演会	8	1	3	3	1		
令和4年度違反是正推進部会阪神ブロック部会	8	1	3	3	1		
火災科学セミナー	8	1	3	3	1		
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2022	8	1	3	3	1		
Zoomによるオンラインセミナー「やさしく学べる建築法規シリーズ/建築物の防火・避難施設編」	1			1			
令和4年度「違反是正の推進に係る実務研修【区分A】」	1			1			
令和4年度「違反是正の推進に係る事務研修【区分C】」	7	1	3	3			
令和4年度危険物等安全管理研修会	1			1			
令和4年度安全講演会	2		2				
建築物の防火避難規定の解説 2016 (第2版) 講習会	1			1			
令和4年度危険物事故防止講習会	5		1	2	2		
危険物保安技術講習会	2		1	1			
令和4年度企業防災対策指導研修会	2		1	1			
第5回通信指令シンポジウム	2		1	1			
大阪市消防局指令情報センター実務研修	2			1	1		
安全運転管理者等講習	10	9	1				
整備主任者研修	4			3			1
緊急車両運転者特別研修	2		1			1	
火災調査担当者会議	1			1			
国際消防救助隊セミナー	1			1			
航空機連携講習会	1		1				
大阪市消防局国際消防救助隊員研修	1			1			
国際消防救助隊連携訓練	1			1			
J I R A A 検 定 R e s c u e C	1			1			
FFS1 (ファイヤーファイターサバイバル)	1			1			
FFS2 (ファイヤーファイターサバイバル)	1			1			
スィフトウォーターレスキューコース	1			1			
近畿救急医学研究会 救急隊員部会	46		7	14	15	10	
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会 救急隊員研修会	118		19	32	38	23	6
阪神地区消防長会救急隊員研修会	223		27	76	51	50	19
周産期対応特別救急研修	2				2		
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	1	1					
全国救急隊員シンポジウム	2		1			1	
合 計	633	46	99	188	137	137	26

(派遣研修) その2

(令和4年度中)

階 級	研 修 名	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
	ステップアップ研修(公務員倫理)	17					17	
	ステップアップ研修(メンタルヘルス)	22				3	19	
	公務員倫理指導者養成研修	1	1					
	兵庫県市町村振興協会「パソコン研修」	4			1		3	
	令和4年度安全運転講習会	37		1	15	17	4	
	令和4年度クレーム対応力向上研修(窓口対応編)	1			1			
	令和4年度クレーム対応力向上研修(組織対応編)	1		1				
	令和4年度クレーム対応力向上研修(法的対応編)	3		3				
	令和4年度政策形成力育成研修	6			6			
	働き方改革のための事業見直し研修	1		1				
	令和4年度説明力向上研修	1			1			
	令和4年度パソコン研修	6			2	1	3	
	働き方改革のための効率アップ研修	2			2			
	技術職員研修「入札談合の防止に向けて」	1		1				
	効果的な広報チラシの作り方研修	2			1		1	
	(e-ラーニング)マイナンバー制度研修	34	4	10	12	4	1	3
	令和4年度人権問題講演会	2	1	1				
	政策法務研修～入門編～	1			1			
	オンライン統計研修	8		4	3		1	
	令和4年度課長第1部研修(春期)	4	4					
	令和4年度課長第2部研修	3	3					
	令和4年度課長第1部研修(秋期)	4	4					
	令和4年度係長第1部研修・前期(マネジメント)	6		6				
	令和4年度係長第1部研修・前期(法律)	6		6				
	令和4年度係長第2部研修(OJT研修)	6		6				
	再任用予定者研修	2		1		1		
	指導力向上研修	19			13	6		
	火災予防行政執行能力向上研修	95	2	13	15	26	39	
	緊急車両運転者特別研修	2		1			1	
	認定機関員節目研修	19				9	10	
	兵庫県市町村振興課「地方債事務担当職員研修」	1		1				
	合 計	317	19	56	73	67	99	3

(職場研修)

(令和4年度中)

階 級 研 修 名	実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条 件 付 採 用 時 研 修	1	20				20	
	新 任 課 長 級 特 別 研 修	1	4	4				
	新 任 係 長 級 特 別 研 修	1	7		7			
	採 用 後 定 時 研 修 (3 年 目)	1	16				16	
	採 用 後 定 時 研 修 (5 年 目)	1	21			1	20	
	令 和 4 年 度 採 用 者 に 対 す る 特 別 研 修	1	19				19	
	再 任 用 予 定 者 研 修	1	2		1		1	
	昇 任 予 定 者 研 修	2	17				6	11
	コ ン プ ラ イ ア ン ス 研 修	1	29			4	3	22
	モ チ ベ ー シ ョ ン 向 上 研 修	1	30			5	4	21
	服 務 研 修	1	22			5	1	16
	公 務 員 倫 理 研 修	4	342			78	108	156
企画課	財 務 事 務 研 修 (基 本 編)	1	15		4	6	4	1
	財 務 事 務 研 修 (予 算 編)	1	9		9			
予防課	予 防 事 務 調 査 研 究 会	4	28				10	18
	予 防 実 務 研 修	2	16				14	2
指令課	新 規 指 令 課 異 動 者 研 修	55	82		22	39	21	
	指 令 課 実 務 研 修	13	14		2	4		8
	マ ニ ュ ア ル 指 令 訓 練	4	48		12	22	10	4
	非 常 招 集 伝 達 訓 練	4	179	20	48	75	23	4
	口 頭 指 導 に 係 る 救 急 研 修 (口 頭 指 導 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 含 む)	130	807		140	420	170	77
	口 頭 指 導 研 修 (外 部 講 師 に よ る 研 修)	2	23	1	5	10	5	2
	可 搬 型 指 令 シ ス テ ム 取 扱 訓 練	2	26	2	6	11	5	2
	北 消 防 署 集 中 受 信 訓 練	4	54	3	5	8	18	20
	通 信 研 修	2	35		4	10	5	16
	リ モ ー ト 指 令 操 作 訓 練	2	26	2	6	11	5	2
エ リ ア 災 害 訓 練	2	14		2	9	3		
警防課	緊 急 消 防 援 助 隊 に 関 す る 研 修 会	2	38	8	9	10	11	
	整 備 研 修	7	7					7
	任 命 調 査 員 研 修	5	50				25	25
	火 災 調 査 研 修	1	32		1	2	10	19
	新 規 潜 水 士 免 許 取 得 者 実 技 研 修	5	8					8
	救 助 活 動 研 修 (水 難)	1	20			2	8	10
	救 助 活 動 研 修 (ボ ー ト 救 出 要 領)	1	20			5	7	8
	救 助 活 動 研 修 (捜 索)	1	8			1	4	3
	新 規 救 助 小 隊 長 研 修	1	2				2	
	火 災 対 応 救 助 研 修	1	16				3	13
自 動 注 射 器 研 修	1	3		1	1	1		
救急課	救 急 救 命 士 就 業 前 研 修	1	6				1	5
	救 急 救 命 士 定 期 研 修	1	238		25	65	99	49
	救 急 救 命 士 事 前 研 修	1	3				2	1
	救 急 隊 員 現 場 実 習 研 修	1	3			1	1	1
	指 導 救 命 士 伝 達 研 修	1	32		3	9	16	4
	新 規 救 急 小 隊 長 研 修	1	7				7	
	救 急 救 命 士 資 格 取 得 後 研 修	1	12				5	7
合 計	277	2,410	40	312	813	619	616	10

消防吏員階級別資格取得状況

(令和5年4月1日現在)

階 級			合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	
種 別									
消 防 吏 員 数			504	29	69	97	126	183	
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	49		11	14	20	4	
		乙 種	102	7	18	16	38	23	
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	6		1	2	3		
		乙 種	440	14	53	117	125	131	
		丙 種	35	16	8	3	7	1	
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員	83	2	14	23	25	19	
		消 防 用 設 備 等 専 門 員	63	2	13	16	20	12	
		危 険 物 専 門 員	70	2	16	20	22	10	
	通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		484	29	69	97	126	163
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	228	16	52	60	69	31
			2 種	1			1		
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	256	13	17	37	57	132
			2 種	16	4	7	4		1
	自 動 車 整 備 士	2 級	5		2	3			
		3 級	26	2	9	7	7	1	
救 急	救 急 隊 員		484	29	69	97	126	163	
	救 急 救 命 士		124	11	15	29	41	28	
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		69	6	14	26	23		
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		112	6	14	29	41	22	
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		106	2	14	29	40	21	
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		62	3	14	26	19		
	指 導 救 命 士		8	1	7				
救 助	救 助 隊 員		195		3	55	61	76	
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		125	8	22	43	33	19	
	潜 水 士		231	17	47	59	57	51	
	酸 欠 講 習 修 了 者		108	7	26	27	32	16	
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		64	13	22	17	11	1	
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		133	9	20	39	39	26	
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		4	1	1	1	1		
	小 型 船 舶 操 縦 士	2 級 (旧 4 級) 以 上	92	8	29	26	20	9	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		44	24	16	4			
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		10	5	4	1			
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		9		1	6	2		

公務災害等発生状況

(令和4年度中)

区 分 勤務態様別		発 生 件 数	被 災 者 数	階 級 別						傷 病 程 度 別							
										通 院			入 院				死 亡
				消 防 監 上	消 防 司 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	一 カ 月 〜 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	
公 務 災 害	火 災	1	1						1			1					
	救 急	1	1						1				1				
	救 助																
	その他 災 害																
	水 防 災 害																
	訓 練 中	3	3						3				1	1	1		
	一般業務中																
	そ の 他	2	2						2					1	1		
通 勤 災 害	3	3			1	1		1					1		1		
合 計	10	10			1	1		8				1	2	3	3	1	

消防表彰等の状況

(令和4年度中)

			個人	団体
職員	市長表彰	永年勤続職員	12	
	消防庁長官表彰	永年勤続功労章	3	
	兵庫県知事表彰	功 労 章	6	
		永年勤続功労章	6	
		救急医療・救急業務功労者	1	
	全国消防長会会長表彰	永年勤続功労者	4	
	全国消防協会会長表彰	全国優良消防職員	1	
	市医師会会長感謝状	救急業務功績	1	
	局長・部長・署長表彰	勤務成績優秀表彰	33	
		優秀機関員表彰	54	
		救助活動表彰	1	1
消防業績表彰			1	
市民	消防局長表彰	人命救助表彰	1	
		消防業務協力	9	6
	消防署長表彰	人命救助表彰		
		消火協力表彰	3	1

消防音楽隊の状況

(令和5年4月1日現在)

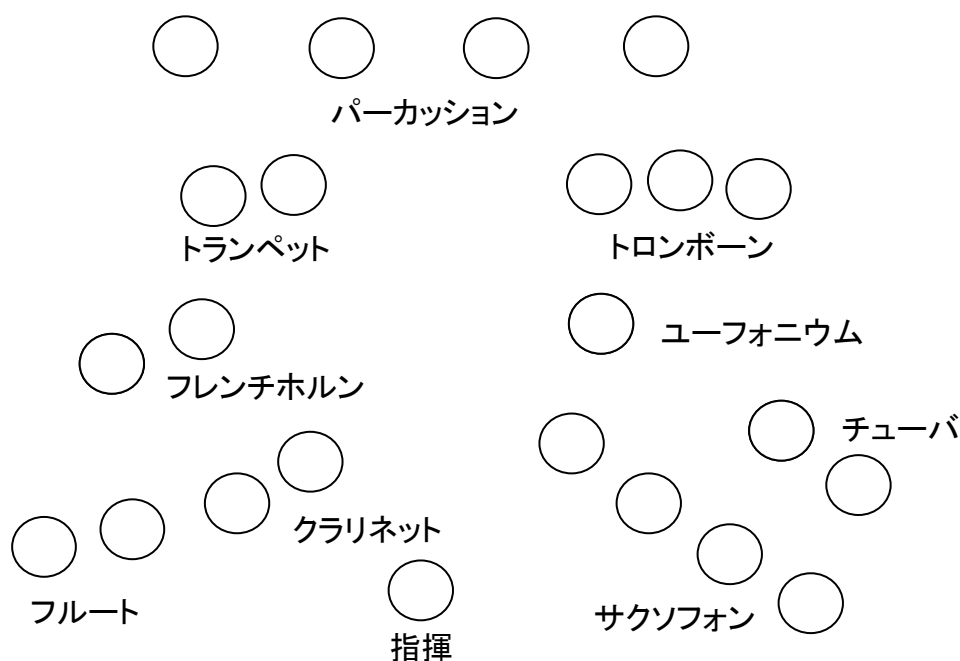
1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	7	9	5	2	24

2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォードドラム	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	5	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ドラ	1	ティンパニ	3

3 消防音楽隊配置



4 出演状況

(令和4年度中)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6

広報及び広聴



トライやる・ウィーク

広報及び広聴の概要

1 広報

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の情報を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、広報広聴ガイドラインに基づき、市政ニュース、さくらFM、新聞その他広報媒体を活用した消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・YouTube・ツイッター等のSNSでも消防広報を実施した。

2 広聴

広聴については、広聴機会の充実と利便性の向上を目的に、令和3年度から全庁的な取組として導入された「市民の声システム」を引続き適切に運用するとともに、市民からの問合せ等を迅速かつ的確に処理して、消防への信頼確保に努めた。

このうち、消防に関する提案や要望、意見等の広聴件数は9件で、内訳は、総務2件、企画1件、予防1件、指令1件、警防2件、救急2件となっている。

広報活動状況

(令和4年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	376		1,207	407時間45分
消 防 教 室	231	28,106	804	262時間20分
幼年消防クラブ活動	38	4,175	161	38時間35分
少年消防クラブ活動	4	101	15	3時間30分
家庭防火クラブ活動	18	254	47	30時間00分
自主防災組織	104	3,383	363	56時間23分
合 計	771	36,019	2,597	798時間33分

資料配布及び刊行物発行

(令和4年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	1,755	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設
防 災 冊 子 等	1,644	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設

広 聴 事 務 処 理 状 況

(令和4年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	2
	企 画	1
	予 防	1
	指 令	1
	警 防	2
	救 急	2
合 計		9

消 防 情 報 の 提 供 (報 道 機 関 等)

(令和4年度中)

情報提供先 区分	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ他)	65	9	25	16	15
市広報紙等 (市政・庁内ニュース他)	90	52	11	14	13
ホームページ	143	56	23	24	40
合 計	298	117	59	54	68

予 防 行 政



にしのみや市民祭り

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器について、未設置住宅や条例の設置基準に適合していない住宅に対して、設置の徹底を働きかけ、また、既に設置されている住宅については、作動確認を行い、電池切れの場合は速やかに交換する等、適切な維持管理を呼びかけた。

また、火災発生時に人命危険が高い高齢者等に対しては、住宅防災診断を通じて、住宅防火に関する知識の普及を図るとともに、住宅用火災警報器の取付けが困難な世帯に、取付けの支援を行い、設置促進を図った。

2 予防広報の推進

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、こんろ火災、放火火災、その他火災発生の上位を占める原因や特に注意喚起すべき情報について、市政ニュース、ホームページなどの広報媒体を活用し、類似火災発生未然防止を図った。

また、住宅用火災警報器の奏功事例、住宅用消火器等の住宅用防災機器に関する情報等、火災から身を守るための情報を併せて発信することで、防火意識の高揚を図った。

さらに、こんろ火災の注意喚起及び住宅用火災警報器の設置・維持管理に関する映像を中心に市内各地で放映することで、住宅防火対策の強化を図った。

3 予防査察体制の充実強化

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である重大な消防法違反がある防火対象物をはじめ、5年を超えて消防用設備等点検結果報告がなされていない防火対象物や防火管理者未選任の特定防火対象物に対して優先的に査察を行い、消防用設備等の設置・維持管理及び防火管理体制の確立を徹底した。

また、重大な消防法違反のある防火対象物に対しては、公表制度に基づき、利用者の安全を確保するとともに、機を逸することなく早期の是正を図った。

危険物施設については、施設の位置、構造、設備及び危険物の貯蔵、取扱いについて、法令基準に適合しているか着目し査察を行った。

防火対象物現況表

(令和5年4月1日現在)

用途別		所属別	合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山分署
合計			12,264	3,356	1,282	2,342	898	2,436	1,016	324	610
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	9	6				1			2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	7		1		1	1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0								
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1				1			1
3項	イ	待合・料理店等	0								
	ロ	飲食店	132	57	8	9	10	25	2	2	19
4項		百貨店・市場・マーケット等	245	64	24	49	18	53	14	3	20
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	28	6	1	6	1		8	3	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,463	1,634	775	1,238	288	1,534	672	165	157
6項	イ	病院・診療所・助産所	133	39	15	37	4	21	7	4	6
	ロ	老人短期入居施設等	145	29	10	21	14	29	11	10	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	235	67	21	41	15	45	12	15	19
	ニ	幼稚園・特別支援学校	72	16	8	10	3	23	8	2	2
7項		小・中・高・大・各種学校	450	48	50	125	25	79	103	13	7
8項		図書館・美術館等	19	2	2	1	7		6	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	3		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	11	6		3		1		1	
11項		神社・寺院・教会等	147	55	15	13	9	24	15	5	11
12項	イ	工場・作業場	376	79	9	89	112	32		9	46
13項	イ	自動車車庫・駐車場	252	63	8	69	49	23	1	19	20
14項		倉庫	458	64	3	87	118	24	3	7	152
15項		前各項に該当しない事業所	956	303	58	154	134	141	39	50	77
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,181	413	193	223	37	220	61	9	25
	ロ	イ以外の複合用途対象物	913	391	81	161	54	157	42	6	21
17項		重要文化財等	14	1				1	11		1
18項		50 m以上のアーケード	2	2							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(令和5年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0			0			0		
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	7	2	9	7	2	9	7	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0			0			0		
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	3		3	3		3	3	
3項	イ	待合・料理店等	0			0			0		
	ロ	飲食店	117	61	56	111	59	52	110	58	52
4項		百貨店・市場・マーケット等	177	128	49	173	125	48	173	125	48
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	20		20	20		20	20	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,334	1,334		1,300	1,300		1,291	1,291	
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	57	2	56	54	2	56	54	2
	ロ	老人短期入居施設等	120	120		116	116		116	116	
	ハ	老人デイサービスセンター等	129	113	16	127	112	15	127	112	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	41	39	2	41	39	2	41	39	2
7項		小・中・高・大・各種学校	124	116	8	123	115	8	123	115	8
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0			0			0		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4	2	2	4	2	2	4	2	2
10項		車両の停車場、船舶の発着場	2	2		2	2		2	2	
11項		神社・寺院・教会等	69	54	15	65	51	14	65	51	14
12項	イ	工場・作業場	57	57		57	57		56	56	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	0			0			0		
14項		倉庫	37	37		35	35		35	35	
15項		前各項に該当しない事業所	272	228	44	264	223	41	261	220	41
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	822	734	88	771	688	83	758	676	82
	ロ	イ以外の複合用途対象物	195	186	9	188	179	9	186	177	9
17項		重要文化財等	0			0			0		
合計			3,608	3,313	295	3,482	3,202	280	3,453	3,174	279

防火対象物査察・検査実施状況

(令和4年度中)

区 分 用 途 別			査察状況 (※1)		消防用設備検査 (※2)	
			防火対象物 (棟 数)	査察実施対象物 (棟 数)	検査届出対象物 (棟 数)	検査実施対象物 (棟 数)
1 項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	3	1	1
	ロ	公会堂・集会場	8	7	1	
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	7		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1		
3 項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	112	67	11	7
4 項		百貨店・市場・マーケット等	241	103	20	15
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	22	21	3	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,449	1,677	253	117
6 項	イ	病院・診療所・助産所	132	58	14	6
	ロ	老人短期入居施設等	136	60	24	12
	ハ	老人デイサービスセンター等	188	98	22	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	72	26	7	3
7 項		小・中・高・大・各種学校	448	206	69	15
8 項		図書館・美術館等	19	12	2	
9 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	4			
10 項		車両の停車場、船舶の発着場	11	3	1	
11 項		神社・寺院・教会等	144	70	3	2
12 項	イ	工場・作業場	376	134	23	8
13 項	イ	自動車車庫・駐車場	233	87	9	1
14 項		倉庫	452	163	37	13
15 項		前各項に該当しない事業所	934	319	76	26
16 項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,175	373	145	61
	ロ	イ以外の複合用途対象物	912	297	56	19
17 項		重要文化財等	14	14	1	
18 項		50 m以上のアーケード	2			
合 計			12,102	3,806	778	322

※1 国の調査報告要領に従い17項及び18項以外は延べ面積150㎡以上のものを計上

※2 消防法第17条の3の2により消防用設備等の検査が義務付けられている防火対象物を計上

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(令和5年4月1日現在)

用途別		区分	合計 (棟)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17~31	10階 以下 で31 m以 上の もの
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	2	1													1
	ロ	公会堂・集会場	2	1	1												
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0														
	ロ	遊技場・ダンスホール	0														
	ハ	性風俗関連特殊営業店等	0														
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	1		1												
3項	イ	待合・料理店等	0														
	ロ	飲食店	8	4	1	1	1	1									
4項		百貨店・市場・マーケット等	2	2													
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8		2	1	2	1					1				1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,781	716	386	276	83	46	69	59	23	20	47	31	3	7	15
6項	イ	病院・診療所・助産所	21	7	8	2					1	1					2
	ロ	老人短期入居施設等	25	15	7	1							1				1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	1												
	ニ	幼稚園・特別支援学校	0														
7項		小・中・高・大・各種学校	49	30	11	1					1	1					5
8項		図書館・美術館等	0														
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの	0														
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	0														
10項		車両の停車場、船舶の発着場	0														
11項		神社・寺院・教会等	5	2	2												1
12項	イ	工場・作業場	23	14	5												4
13項	イ	自動車車庫・駐車場	8	1	1	1											5
14項		倉庫	14	5	3	4											2
15項		前各項に該当しない事業所	74	44	15	6	1				1						7
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	257	136	57	26	12	3	3	1	1	2	3			8	5
	ロ	イ以外の複合用途対象物	246	117	59	28	10	10	4	5	4	1	2	1		2	3
17項		重要文化財等	0														
18項		50m以上のアーケード	0														
合計(棟)			2,530	1,098	560	347	109	61	76	65	31	25	54	32	3	17	52

防火管理に関する講習の実施状況

(令和4年度中)

講 習 区 分	講 習 回 数	受 講 者 数
甲種防火管理新規講習	8	344
甲種防火管理再講習	1	10
防火防災管理新規講習	1	32
防火防災管理再講習	1	8

建築物確認申請等処理状況

(令和4年度中)

合計	新 築	増 築	改 築	修 繕	模様替	用途変更	その他
371	299	10				3	59

12条報告・仮使用承認等処理状況

(令和4年度中)

所属別 処理別	合計	消 防 局	西 宮 消 防 署	鳴 尾 消 防 署	瓦 木 消 防 署	北 消 防 署
12条報告等協議	9	9				
仮使用承認の協議	6	6				

危険物製造所等設置許可数

(令和5年4月1日現在)

合 計		263	構成比(100%)
製 造 所		3	1.1%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	53	20.1%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	3	1.1%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10	3.8%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	62	23.6%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1.9%
	屋 外 貯 蔵 所	5	1.9%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	83	31.6%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.8%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	37	14.1%

危険物製造所等類別設置許可数

(令和5年4月1日現在)

種 別		合 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在
施 設 別									
合 計		263	1			260			2
製 造 所		3				3			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	53	1			50			2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	3				3			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10				10			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	62				62			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	0							
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	5				5			
	屋 外 貯 蔵 所	5				5			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	83				83			
	第 1 種 販 売 取 扱 所	0							
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所	0							
	一 般 取 扱 所	37				37			

所属別危険物施設等現況及び査察状況

(令和4年度中)

		施設別		政 令 危 険 物												少	指								
				合	製	貯 蔵 所						取 扱 所						量	定						
						計	所	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	給					第	第	移	一	危	燃
所属別		計	所	内	ク	ク	ク	ク	ク	外	油	売	売	送	物	物									
危険物施設等現況	合計		258	3	52	3	10	60	0	5	5	82	0	2	0	36	472	159							
	消 防 局		38							5		33													
	西宮	本 署	40		7	3	2	14			1	2		2		9	125	20							
		北 夙 川 分 署	4		1		1	1								1	15	1							
	鳴尾	本 署	47	1	10			17			1	8				10	97	58							
		浜 分 署	66	2	19		4	10			2	16				13	94	32							
	瓦木	本 署	11		5			4				1				1	41	2							
		甲 東 分 署	8		2		3	1				1				1	11								
	北	本 署	10		2			3			1	3				1	23								
		山 口 分 署	34		6			10				18					66	46							
査察状況	査 察 実 施 数		229	3	33	3	4	31	0	8	4	112	0	1	0	30	100	36							
	消 防 局		77							5		72													
	西宮	本 署	26		6	3		5		1	1	4		1		5	10	1							
		北 夙 川 分 署	4		1		1	1								1	5								
	鳴尾	本 署	29	1	6			10			1	7				4	13	12							
		浜 分 署	46	2	12		1	2			2	7				20	6	5							
	瓦木	本 署	7		3			2		1		1					14	1							
		甲 東 分 署	12		2		2	2				6					8								
	北	本 署	6		1			1		1		3					8								
		山 口 分 署	22		2			8				12					36	17							

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(令和4年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
	0				
0	水 圧 検 査				
	小計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	0				

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(令和4年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
63	24	39

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(令和5年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	472	159	12	7	48	16	253	13

住宅防災診断実施状況

(令和4年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			2,077
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問診断小計
	928	1,149	2,077
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
			自己診断小計

住宅防災診断指導件数

(令和4年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	293
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	211
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、こまめに掃除しましょう。	70
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	22
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	15
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	18
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	24
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	7
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物を置かないようにしましょう。	30
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	8
消火器は必ず設置しておきましょう。	436
消火器の使い方を覚えておきましょう。	188
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	28
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	16
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	32
地震の揺れにより家具類が転倒・落下し怪我をしたり逃げ道をふさがれたりします。ぜひ対策しておきましょう。	208
いざという時のために非常持ち出し袋を用意しておきましょう。	285
避難生活や断水に備えて水を3日分は準備しておきましょう。	233
特に津波が発生した場合は避難が重要となります。地域の指定避難場所や津波避難ビルの場所を確認しておきましょう。	84
学校や勤務先などで被災した場合、誰がどこに避難するのかどのように連絡を取り合うのかなどを話し合っておくことで、安否確認がスムーズにできます。	197

火災統計



兵庫県消防学校 実火災体験型訓練施設

火災の概要

1 概況

令和4年中の火災は77件で、前年81件と比べ4件減少している。これは、過去10年間では、最も少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が37件（前年52件）、林野火災が0件（前年1件）、車両火災が8件（前年10件）、船舶火災が0件（前年0件）、その他火災が32件（前年18件）となっている。

焼損棟数は44棟（前年63棟）、り災世帯数は45世帯（前年49世帯）、り災人員は102人（前年109人）、焼損面積は449㎡（前年1,039㎡）、火災損害額は8,683万9千円（前年1億7,153万4千円）となっている。火災損害額を1件当たり換算すると112万8千円（前年211万8千円）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

令和4年中の火災は、4.7日に1件の割合で発生している（前年4.5日に1件）。人口1万人当りの出火件数は、1.6件（前年1.7件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、37件（48%）で最も多く、その他火災が32件（42%）、車両火災が8件（10%）となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、2月が11件と最も多く、続いて10月、12月の10件、11月の9件となっている。出火件数の少ない月は、7月、9月の3件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、月曜日が18件と最も多く、続いて水曜日、金曜日が12件、木曜日が10件となっている。出火件数の少ない曜日は、日曜日の7件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、17時台が8件と最も多く、続いて10時台が6件となっている。0時台、7時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署が23件、北消防署が8件となっている。

3 死者

火災による死者は、2人（前年5人）である。

死者の年齢は、65歳以上が2人となっている。

死者の発生した経過については、不明である。

4 負傷者

火災による負傷者は23人で、前年8人と比べ15人増加している。

負傷者の年齢は、0～64歳の方が17人で、全体の74%となっている。

負傷者が生じた内訳は、消火中が11人、避難中が6人、作業中が3人、その他が3人となっている。

負傷程度は、重症が4人、中等症が2人、軽症が17人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は44棟で、前年63棟と比べ、19棟減少している。

内訳は、全焼2件（前年9件）、半焼4件（前年0件）、部分焼8件（前年8件）、ぼや30件（前年46件）となっている。

6 り災世帯・り災人員

り災世帯は45世帯で、前年49世帯と比べ4世帯減少し、り災人員は102人で、前年109人と比べ7人減少している。

内訳は、全損4世帯11人、半損3世帯6人、小損38世帯85人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は449㎡で、前年1,039㎡と比べ590㎡減少している。

8 出火原因

出火原因は「たばこ」が14件で最も多く、続いて、「放火（放火の疑い含む）」9件、「電気機器」8件の順となっている。

（1）第1位「たばこ」

たばこによる出火件数は14件で、焼損面積が0㎡（前年0㎡）、焼損表面積が0㎡（前年0㎡）、損害額が1万6千円（前年3千円）となっている。

経過別に見ると、「不適當なところに捨てる」が14件（前年7件）でたばこの不始末が原因となっている。

（2）第2位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は9件で、内訳は、建物火災が2件（前年4件）、その他火災が7件（前年5件）となっている。

（3）第3位「電気機器」

電気機器による出火件数は8件で、焼損面積が0㎡（前年30㎡）、焼損表面積が0㎡（前年1㎡）、損害額が16万5千円（前年68万2千円）となっている。

経過別で見ると、「短絡する」が3件（前年3件）と最も多く、モバイルバッテリー等のリチウムイオンバッテリー内での短絡によるものである。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、水曜日の4件が最も多い。また、時間別では、21時台が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は8,683万9千円で、前年1億7,153万4千円と比べ8,469万5千円減少している。

また、建物損害額は、損害総額の84%に当たる7,317万円で、前年1億6,811万5千円と比べ9,494万5千円減少している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	令和4年 A	令和3年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)
出火件数		件	77	81	△ 4	△ 4.9
火災種別	建物火災	件	37	52	△ 15	△ 28.8
	林野火災			1	△ 1	△ 100.0
	車両火災		8	10	△ 2	△ 20.0
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他火災		32	18	14	77.8
焼損棟数	合計	棟	44	63	△ 19	△ 30.2
	全焼		2	9	△ 7	△ 77.8
	半焼		4		4	400.0
	部分焼		8	8		
	ぼや		30	46	△ 16	△ 34.8
り災世帯	合計	世帯	45	49	△ 4	△ 8.2
	全損		4	8	△ 4	△ 50.0
	半損		3		3	300.0
	小損		38	41	△ 3	△ 7.3
り災人員		人	102	109	△ 7	△ 6.4
焼損面積	建物	㎡	449	1,039	△ 590	△ 56.8
	1件当り		12.1	20.0	△ 7.9	
	林野	a		3	△ 3	△ 100.0
	1件当り			3.0	△ 3.0	
損害額	総額	千円	86,839	171,534	△ 84,695	△ 49.4
	火災1件当り		1,128	2,118	△ 990	
	市民1人当り		円	179	354	△ 175
	建物	千円	73,170	168,115	△ 94,945	△ 56.5
	建築物		58,963	65,100	△ 6,137	△ 9.4
	収容物		14,207	103,015	△ 88,808	△ 86.2
	建物1件当り		1,978	3,233	△ 1,255	
	林野					
	車両		697	2,576	△ 1,879	△ 72.9
	船舶					
	航空機					
	その他	12,972	833	12,139	1457.3	
爆発		10	△ 10	△ 100.0		
死者	人	2	5	△ 3	△ 60.0	
負傷者		23	8	15	187.5	
一日当り	火災件数	件	0.2	0.2		西宮市推計人口 令和5年1月1日現在 484,129人 令和4年1月1日現在 484,727人
	建物火災		0.1	0.1		
	建物焼損面積	㎡	1.2	2.8	△ 1.6	
	損害額	千円	238	470	△ 232	
人口1万人当りの出火件数(出火率)		件	1.6	1.7	△ 0.1	

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成25年	112	91,106	513	3	8
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557		15
平成29年	96	34,569	371		10
平成30年	97	146,023	382		17
令和元年	85	33,560	289	4	8
令和2年	84	137,772	498	4	11
令和3年	81	171,534	1,039	5	8
令和4年	77	86,839	449	2	23
10年間平均	95	120,032	760	2	14

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災人員	焼損面積		死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
	合計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 火災	合計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	23	14		3			6	20	2	3	4	11	13	3	2	8	29	314		1	6	65,081
西宮	13	8		1			4	14	2	2	4	6	11	3	1	7	27	261		1	5	63,380
北夙川	10	6		2			2	6		1		5	2		1	1	2	53			1	1,701
鳴尾消防署	23	10		2			11	11		1	3	7	22	1	1	20	52	121		1	12	8,794
鳴尾	17	8		2			7	9		1	3	5	20	1	1	18	47	121		1	11	8,743
浜	6	2					4	2				2	2			2	5				1	51
瓦木消防署	23	12		2			9	12			1	11	8			8	17	14			4	315
瓦木	16	6		2			8	6				6	4			4	4				2	200
甲東	7	6					1	6			1	5	4			4	13	14			2	115
北消防署	8	1		1			6	1				1	2			2	4				1	12,649
北	4	1					3	1				1	2			2	4				1	12,012
山口	4			1			3															637
合計	77	37	0	8	0	0	32	44	2	4	8	30	45	4	3	38	102	449	0	2	23	86,839

月別火災発生状況

出火件数	合計											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	77											
建物	37											
林野	0											
車両	8											
船舶	0											
航空機	0											
その他	32											
合計	44											
全焼	2											
半焼	4											
部分焼	8											
ぼや	30											
合計	45											
全損	4											
半損	3											
小損	38											
合計	102											
全損	11											
半損	6											
小損	85											
合計	86,839											
建物	73,170											
建物	58,963											
収容物	14,207											
林野	0											
車両	697											
船舶	0											
航空機	0											
その他	12,972											
爆発	0											
損害見積額(千円)												

曜日別火災発生件数

種別	曜日								
	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
建物火災	37	3	11	3	4	7	3	5	1
林野火災	0								
車両火災	8	1		1	2	2	2		
船舶火災	0								
航空機火災	0								
その他火災	32	3	7	5	6	1	7	3	
合計	77	7	18	9	12	10	12	8	1

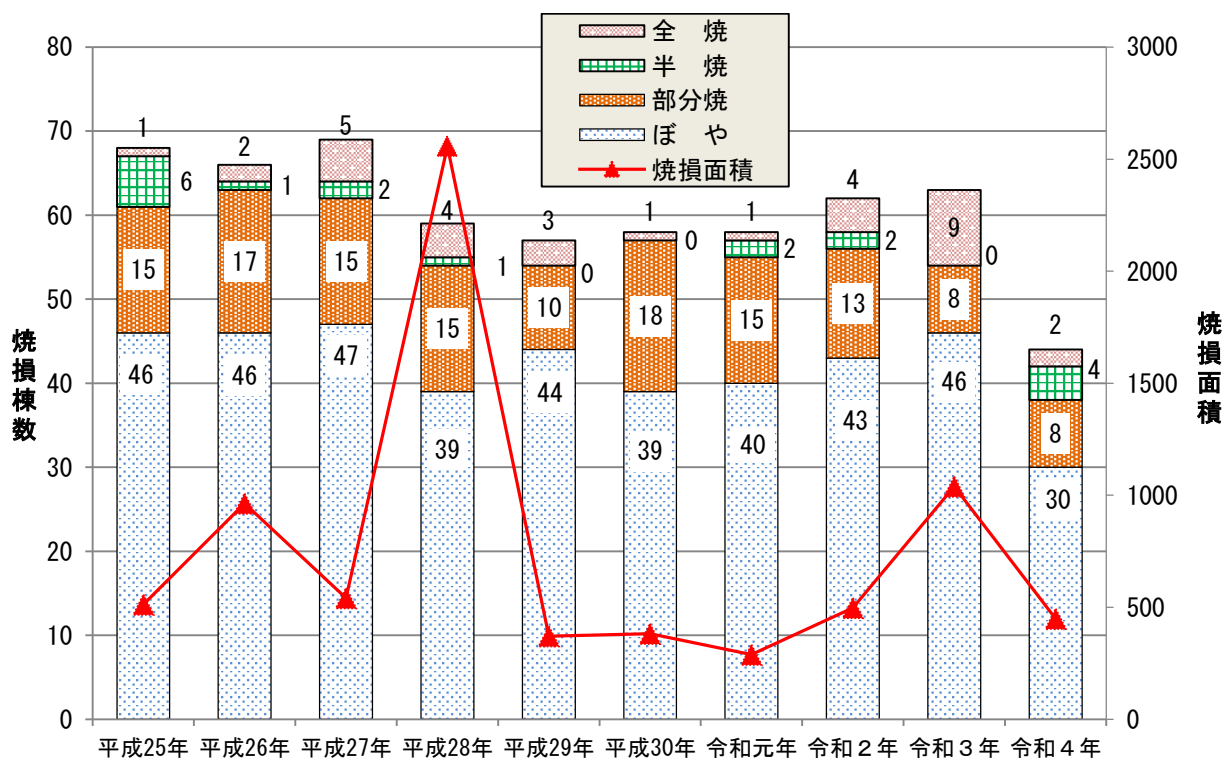
時間別火災発生件数

種別	時間																										
	合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	
建物火災	37		1	2	2	3	2	1		2	1	3	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1			1
林野火災	0																										
車両火災	8								1		1				1	1			1	1	1				1		
船舶火災	0																										
航空機火災	0																										
その他火災	32				1			1		1	1	2	4	1	2	2		2	6	1		2	4	1		1	
合計	77		1	2	3	3	2	2		4	2	6	5	3	4	5	2	4	8	4	3	5	5	1	1	2	

覚知方法別火災発生件数

覚知方法	種別	出火件数						比率 (%)
		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	
専用電話 (IP)		3	2		1			4
専用電話 (固定)		3	2				1	4
専用電話 (携帯)		42	16		5		21	55
加入電話 (固定)		4	2				2	5
加入電話 (携帯)		1					1	1
駆け付け通報		0						
事後聞知		23	15		2		6	30
その他		1					1	1
合計		77	37		8		32	100

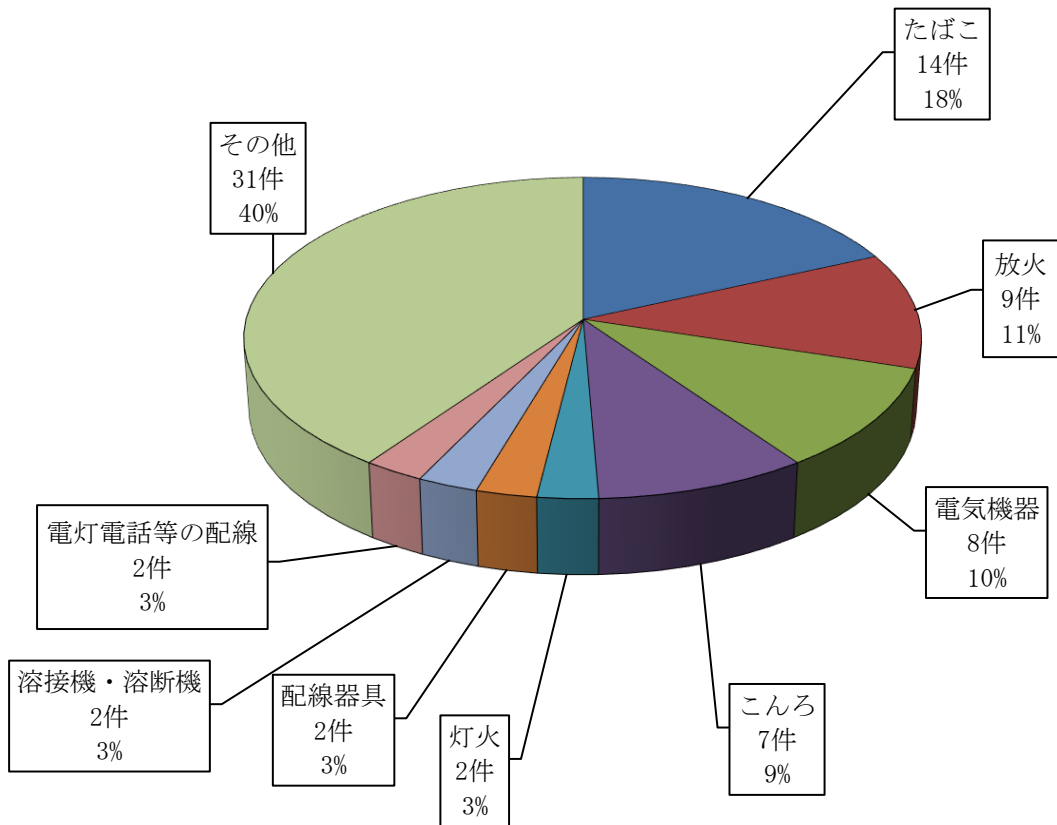
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	令和4年				令和3年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)
建物火災	37	73,170	84	1,978	52	168,888	98	3,248
林野火災					1			
車両火災	8	697	1	87	10	2,623	2	262
船舶火災								
航空機火災								
その他火災	32	12,972	15	405	18	23	0	1
合計	77	86,839	100	1,128	81	171,534	100	2,118

令和4年の出火原因



※ 放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
1位	放火 33	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26	こんろ 16	こんろ 19	こんろ 24	こんろ 13	たばこ 14
2位	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18	配線器具 12	放火 12	放火 10	放火 10	放火 9
3位	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8	放火 11	たばこ 10	たばこ 9	たばこ 9	電気機器 8
4位		配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7	たばこ 9	電気機器 6	電気機器 6	電気機器 8	こんろ 7
5位	電気機器 配線器具 溶接機・ 溶断機 灯火 各4	排気管 電気装置 電灯電話 等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5	電気機器 灯火 各4	ストーブ 配線器具 電灯電話 等の配線 各3	排気管 5	配線器具 6	灯火 配線器具 溶接機・ 溶断機 電灯電話 等の配線 各2

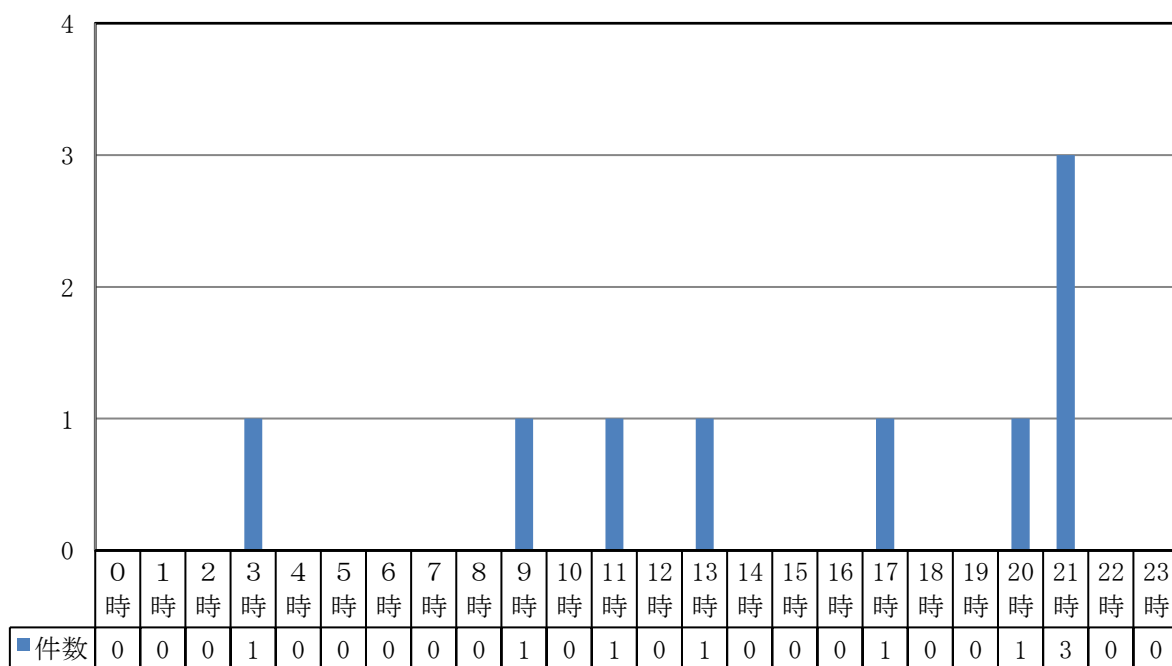
放火件数の推移

年 件数	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	平 均
件 数	33	35	29	11	26	11	12	10	10	9	19

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
件 数	9		2	1	4	1	1		

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着 火 物	件 数
枯草	3
ごみ袋	2
袋及び紙製品	1
合成樹脂と成形品	1
その他	1
不明	1

主な火災発生状況

① 損害額 1,000万円以上
 ② 焼損面積 建物300㎡、林野200 a 以上
 ③ 即報、詳報に該当する火災
 ④ 消防長が必要と認める火災

No.	月 日	種 別	覚 知 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発生場所	火元用途	死 者	負傷者	焼損状況
1	1月7日	その他	12時37分	17時23分	専用電話 (携帯電話)	塩瀬町名塩	作業場			集積所内の工業雑品の一部を焼損したものを。
2	2月21日	建物	1時14分	2時45分	専用電話 (携帯電話)	上田中町	共同住宅	1	1	地上10階建複合用途1棟1店舗189戸のうち、一室を全焼し、その他の住戸の一部及び外壁の一部を焼損したものを。
3	5月16日	建物	5時12分	7時11分	専用電話 (携帯電話)	今津山中町	住宅	1	2	木造カラーベスト葺外壁サイディングボード張2階建一般住宅1棟1戸を全焼し、その他の住戸1棟を全焼、5棟の一部及び車両等を焼損したものを。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	3	7	26
尼崎市	1	3	12
宝塚市			
芦屋市			
神戸市	2	4	14

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	2	5	19
尼崎市	1	3	12
宝塚市			
芦屋市			
神戸市	1	2	7

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

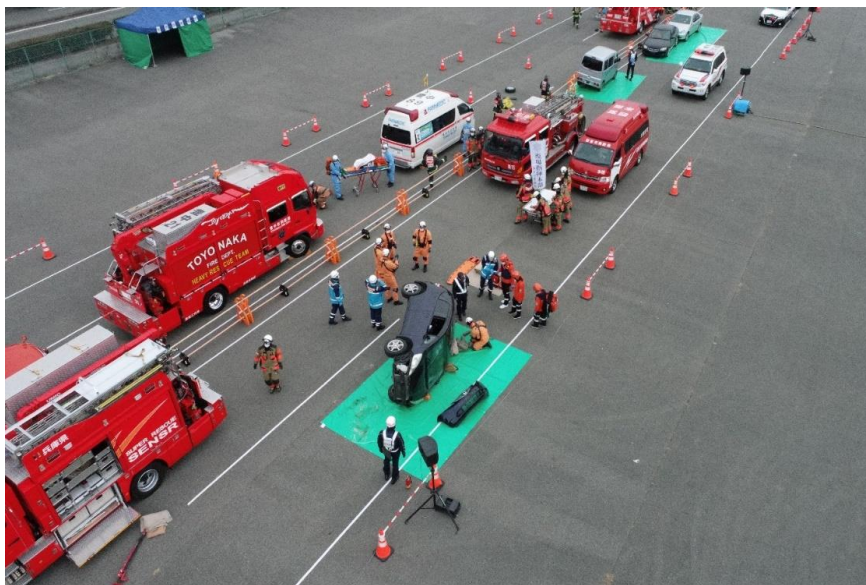
消防局消防活動状況

区 分		合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
出 動 件 数	事後聞知	23	15		2			6	
	第 1 出 動	53	21		6			26	
	第 2 出 動	1	1						
	第 3 出 動	0							
	合 計	77	37		8			32	
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	23	15	2			6	
		人員	88	57	8			23	
	第 1 出 動	台数	262	190	13			59	
		人員	963	687	51			225	
	第 2 出 動	台数	2	2					
		人員	8	8					
	第 3 出 動	台数	0						
		人員	0						
	特命出動	台数	19	6	1			12	
		人員	57	16	3			38	
	合 計	台数	306	213	16			77	
		人員	1,116	768	62			286	
	放 水 台 数	第 1 出 動	48	30		5			13
		第 2 出 動	2	2					
第 3 出 動		0							
特 命 出 動		5			1			4	
合 計		55	32		6			17	
放 水 時 間	5 分 未 満	16	6		1			9	
	5 ～ 10 分	1						1	
	11 分 以 上	38	26		5			7	
使 用 ホ ー ス 数		388	263		26			99	
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	21	12		1			8	
	5 ～ 10 分	30	9		5			16	
	11 分 以 上	3	1					2	

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上

※ 現場までの所要時間は、事後聞知を除く

その他災害統計



名神高速道路合同防災訓練

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

令和4年中のその他災害発生件数は、前年より35件増加し、1,095件発生している。

内訳は、「緊急確認」375件（34%）が最も多く、「補完」276件（25%）、「支援活動」197件（18%）「緊急措置」156件（14%）、「その他」91件（9%）となっている。

消防署別では、西宮消防署管内で319件、鳴尾消防署管内で204件、瓦木消防署管内で216件、北消防署管内で356件発生している。

2 出動状況

令和4年中のその他災害による出動は、1,401台の5,209人となっている。

消防署別では、西宮消防署管内へ430台の1,680人（本署～261台、1,031人、北夙川～169台、649人）、鳴尾消防署管内へ236台の921人（本署～171台、654人、浜～65台、267人）、瓦木消防署管内へ366台の1377人（本署～276台、1039人、甲東～90台、338人）、北消防署管内へ369台の1,231人（本署～212台、706人、山口～157台、525人）が出動している。

3 災害内容

発生件数1,095件の災害内容の主な内訳は、「自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動」299件（27%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」273件（25%）、「道路上における活動隊の安全確保」134件（12%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」110件（10%）、「高齢者、身体障害者等の介助」68件（6%）となっている。

所 属 別 そ の 他 災 害 発 生 状 況

区 分	所属別 合 計	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			
		小 計	本 署	北夙川	小 計	本 署	浜	小 計	本 署	甲 東	小 計	本 署	山 口	
緊 急 措 置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	40	12	8	4	6	6	18	13	5	4		4	
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	110	41	23	18	28	19	9	19	14	5	22	13	9
	ガス漏れ	4	2	1	1				1	1		1	1	
	その他緊急対応措置が必要な事案	2	1	1					1	1				
	小 計	156	56	33	23	34	25	9	39	29	10	27	14	13
緊 急 確 認	火災と紛らわしい煙の確認	26	7	1	6	2		2	4	3	1	13	5	8
	異臭・異音	22	8	4	4	8	8		5	3	2	1	1	
	自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動	299	130	90	40	70	53	17	77	57	20	22	5	17
	ガス・電気等の消し忘れ	1	1	1										
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	7				6	5	1	1		1			
	その他緊急確認が必要な事案	20	8	4	4	7	5	2	5	4	1			
小 計	375	154	100	54	93	71	22	92	67	25	36	11	25	
支 援 活 動	救急隊の支援に携わった事案	59	18	9	9	19	15	4	8	2	6	14	11	3
	道路上における活動隊の安全確保	134	45	28	17	28	16	12	34	28	6	27	19	8
	上記に該当しない支援活動	4				2		2				2	2	
	小 計	197	63	37	26	49	31	18	42	30	12	43	32	11
そ の 他	自然災害対応	4	2		2				2	1	1			
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	12	7	7		3	2	1	1	1		1	1	
	焚き火、野焼き、火遊び等	4	1	1		1		1	2	2				
	高齢者、身体障害者等の介助	68	30	10	20	22	14	8	10	4	6	6	2	4
	その他社会的危険が考えられる事案	3				2	2					1	1	
小 計	91	40	18	22	28	18	10	15	8	7	8	4	4	
補 完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	273	6		6				28	28		239	141	98
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	3										3	3	
	小 計	276	6	0	6	0	0	0	28	28	0	242	144	98
合 計	1,095	319	188	131	204	145	59	216	162	54	356	205	151	
出動台数	1,401	430	261	169	236	171	65	366	276	90	369	212	157	
出動人員	5,209	1,680	1,031	649	921	654	267	1,377	1,039	338	1,231	706	525	

水防統計



水防工法訓練

水防災害活動状況

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	備 考
1	7月12日(火)	時間雨量30mm超 連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：14回 14台 45名	
2	8月5日(金)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
3	8月17日(水)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
4	9月19日(月) ～ 9月20日(火)	台風14号	警防課班別 水防警戒指令(基本)	巡ら：11回 11台 40名 巡視：3回 3台 11名	
5	11月29日(火)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：6回 6台 21名	

救 急 統 計



上級救命講習会

救急の概要

1 概況

令和4年中の救急出動件数は26,468件、搬送人員は23,401人で、前年と比べ出動件数は4,238件、搬送人員は3,231人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は「急病」が全体の66.2%を占め、「一般負傷」が17.3%、「交通事故」が6.0%となっている。

また1日の平均出動件数は72.5件で20分に1件救急車が出動し、西宮市民の18人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

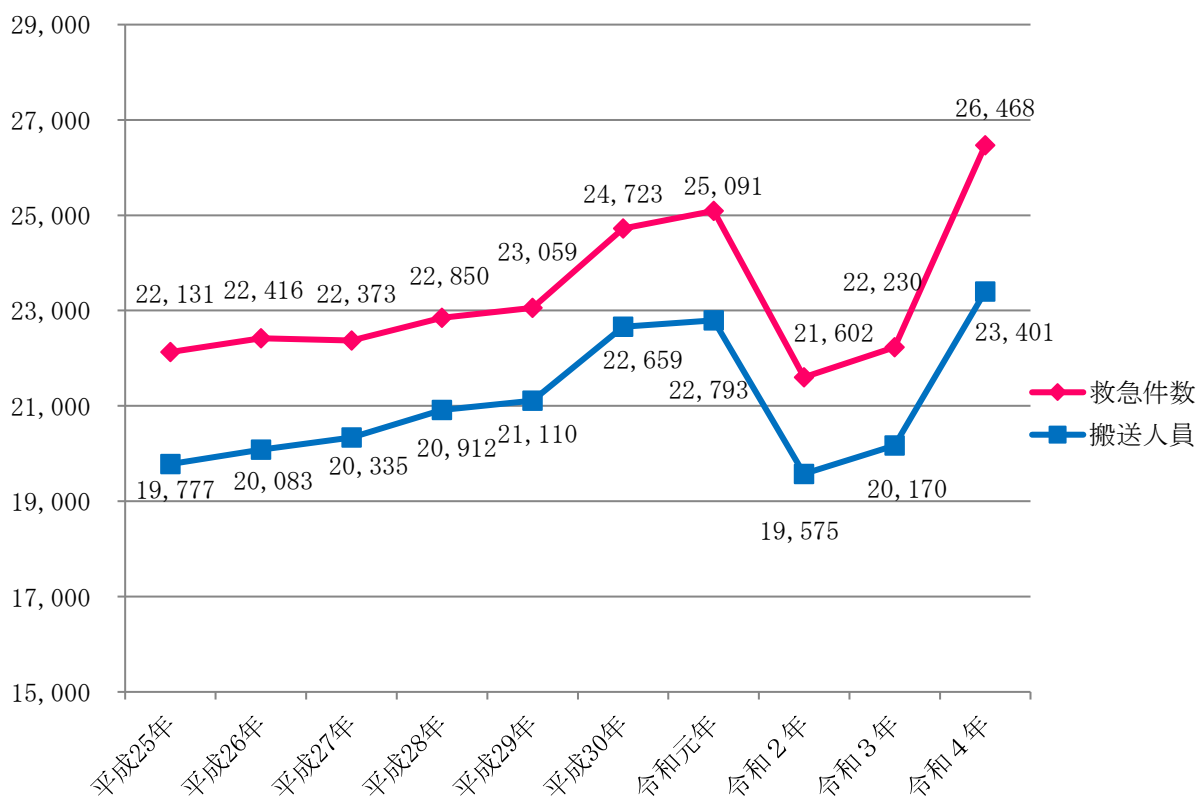
応急手当の普及促進については、新型コロナウイルス感染症の影響により感染防止対策を徹底した上で可能な限り救急講習を開催し、応急手当普及員の育成も推進することで、市民による病院前救護体制の強化及び救命効果の向上を図った。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務に対する理解と協力を求めるためにホームページに加え、YouTube等のSNSを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	令和4年	令和3年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	26,468 件	22,230 件	4,238 件	19.1 %
傷 病 者 搬 送 人 員	23,401 人	20,170 人	3,231 人	16 %
1 日 平 均 出 動 件 数	72.5 件	60.9 件	西 宮 市 推 計 人 口 令和4年1月1日現在 484,727人 令和5年1月1日現在 484,129人 前年比 -598人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	20分に1件	24分に1件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	18人に1件	22人に1件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	21人に1人	24人に1人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	547 件	459 件		

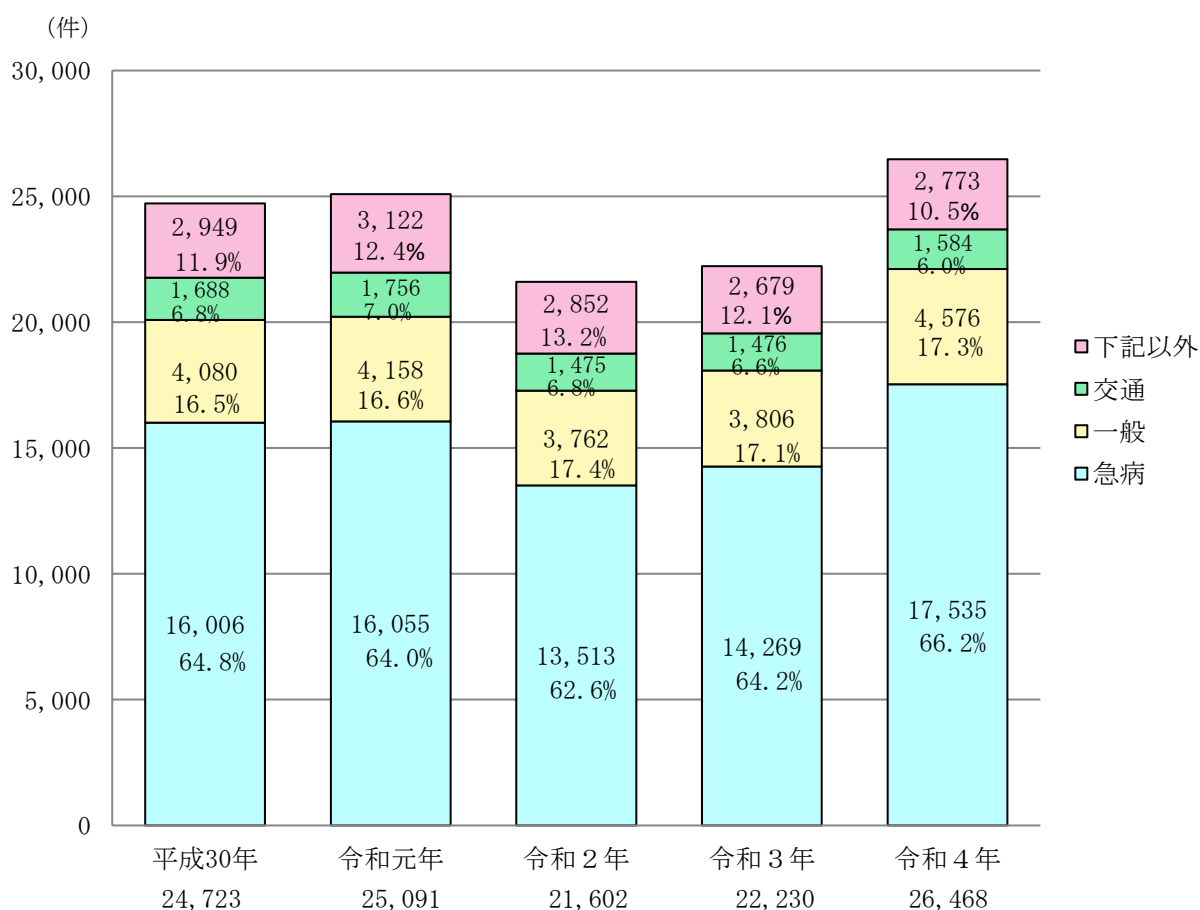
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	自 損 行 為	労 働 災 害	加 害	運 動 競 技	火 災	水 難	自 然 災 害	そ の 他
出動件数 (件)	26,468	17,535	1,584	4,576	208	171	85	223	13	7	1	2,065
構成比 (%)	100	66.2	6.0	17.3	0.8	0.7	0.3	0.8	0.1	0.0	0.0	7.8
搬送人員 (人)	23,401	15,512	1,484	4,255	151	160	70	223	11	2	1	1,532
構成比 (%)	100	66.3	6.3	18.2	0.6	0.7	0.3	1.0	0.1	0.0	0.0	6.5

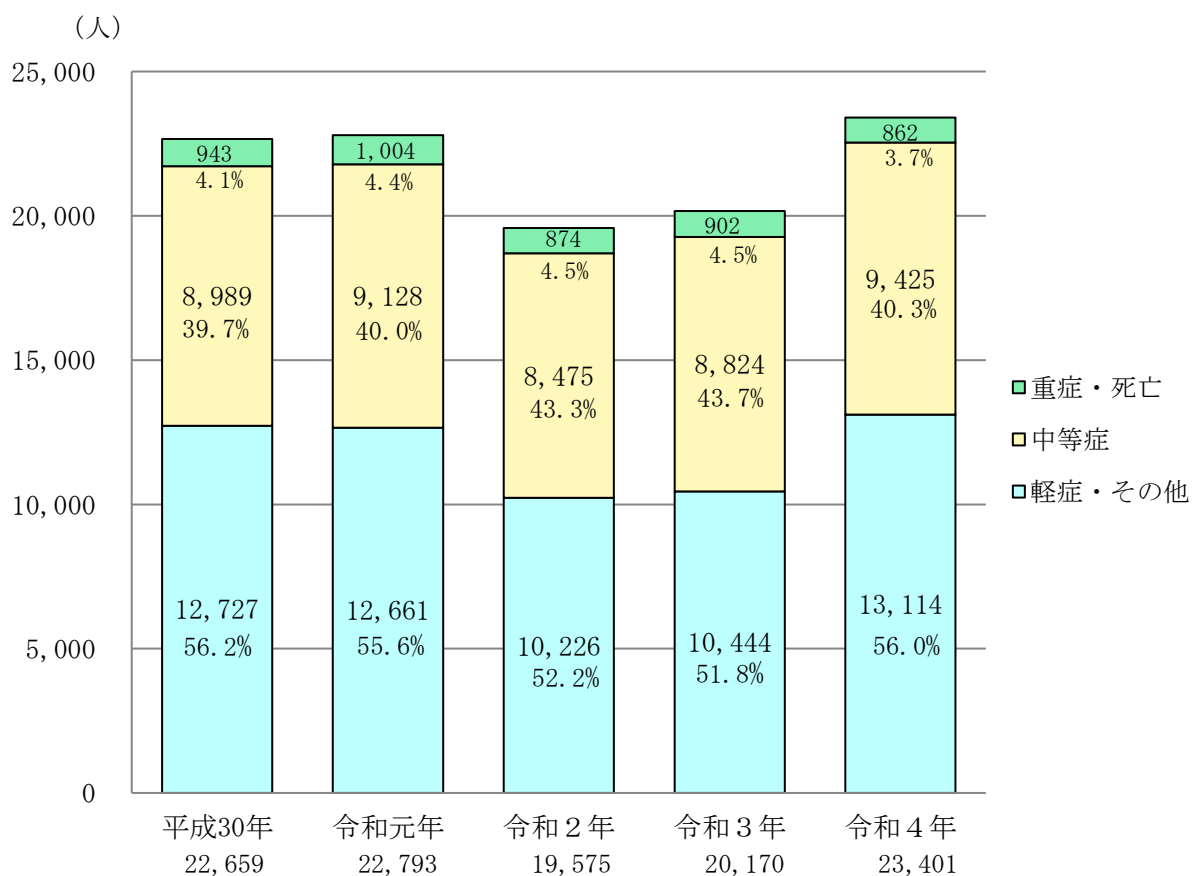
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

事故種別		計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	搬送人員(人)	15,512	103	375	6,540	8,494	
	構成比 (%)	100	0.7	2.4	42.2	54.7	
交通事故	搬送人員(人)	1,484	1	47	203	1,233	
	構成比 (%)	100	0.1	3.1	13.7	83.1	
一般負傷	搬送人員(人)	4,255	3	234	1,158	2,860	
	構成比 (%)	100	0.1	5.5	27.2	67.2	
その他	搬送人員(人)	2,150	11	88	1,524	527	
	構成比 (%)	100	0.5	4.1	70.9	24.5	
計	搬送人員(人)	23,401	118	744	9,425	13,114	0
	構成比 (%)	100	0.5	3.2	40.3	56.0	0.0

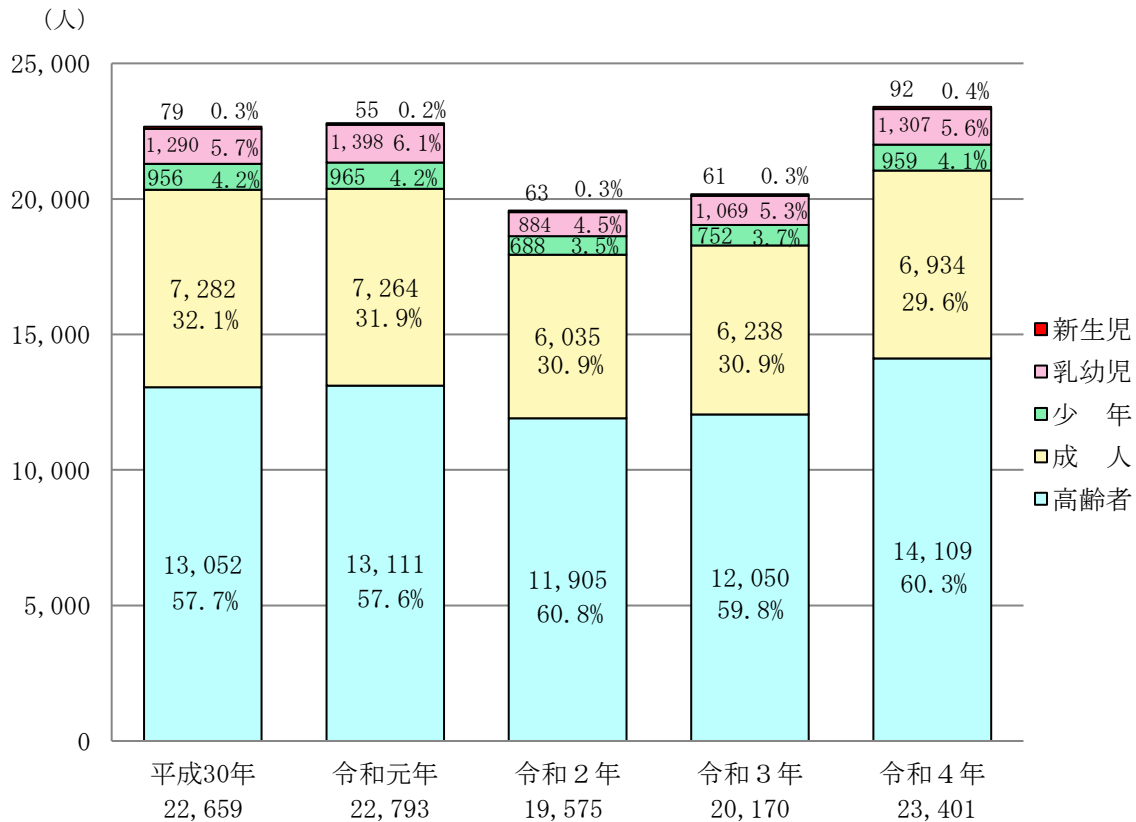
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

		計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	搬送人員(人)	15,512	9	874	490	4,584	9,555
	構成比(%)	100	0.1	5.6	3.2	29.5	61.6
交通事故	搬送人員(人)	1,484		62	146	841	435
	構成比(%)	100	0.0	4.2	9.8	56.7	29.3
一般負傷	搬送人員(人)	4,255	2	321	141	704	3,087
	構成比(%)	100	0.1	7.5	3.3	16.5	72.6
その他	搬送人員(人)	2,150	81	50	182	805	1,032
	構成比(%)	100	3.8	2.3	8.5	37.4	48.0
計	搬送人員(人)	23,401	92	1,307	959	6,934	14,109
	構成比(%)	100	0.4	5.6	4.1	29.6	60.3

年齢区分別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

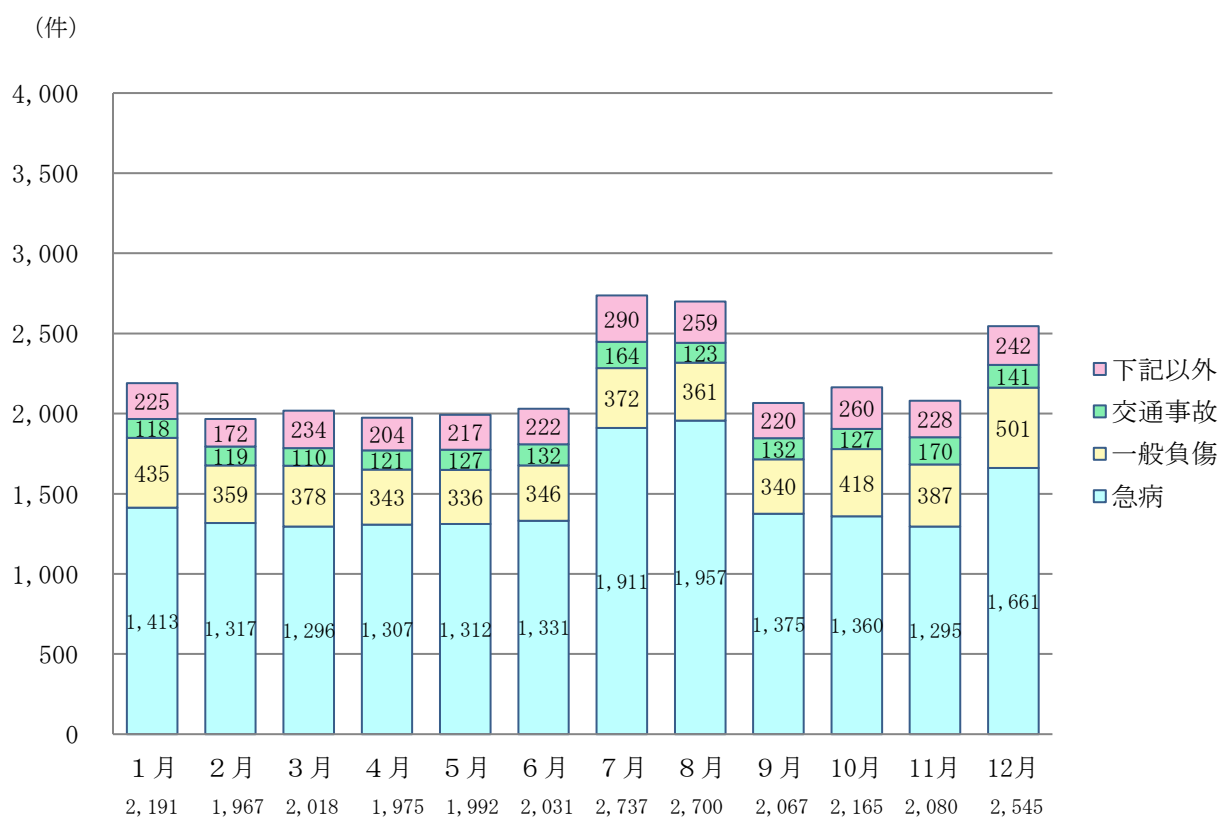
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

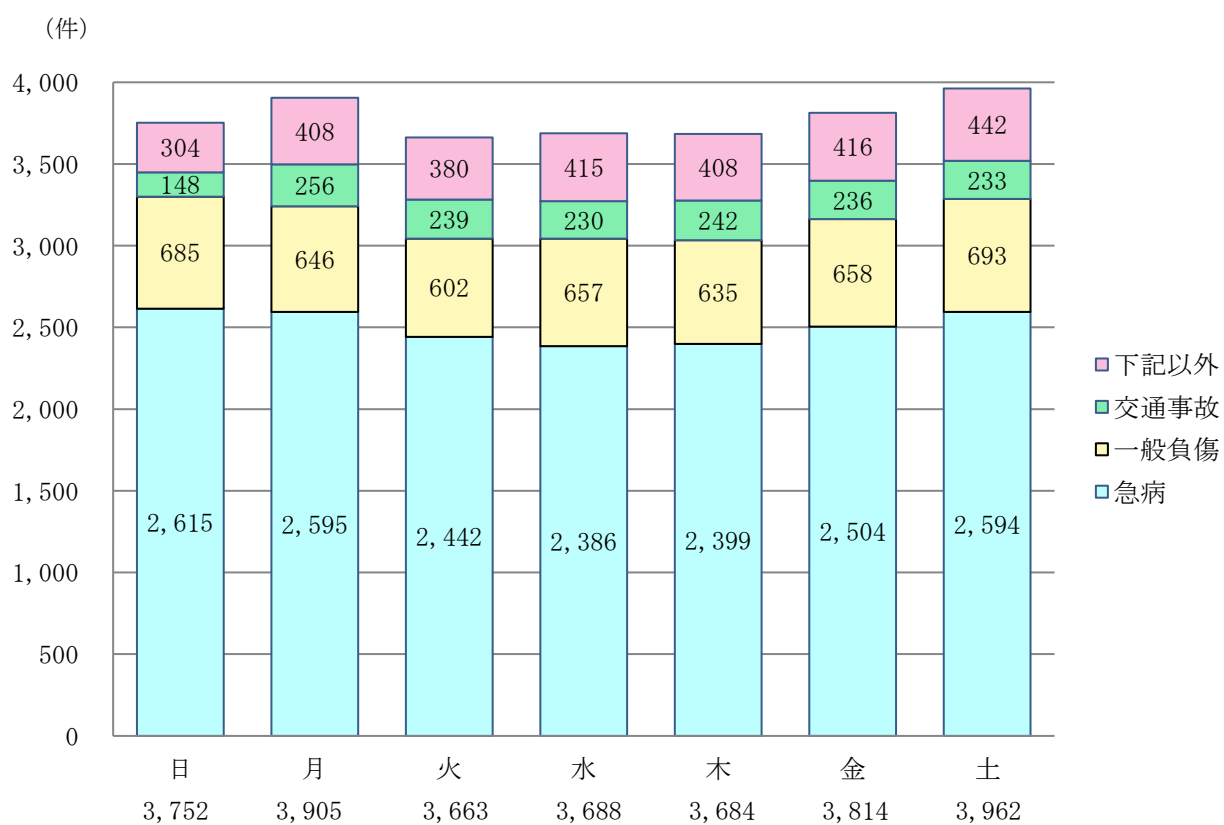
高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

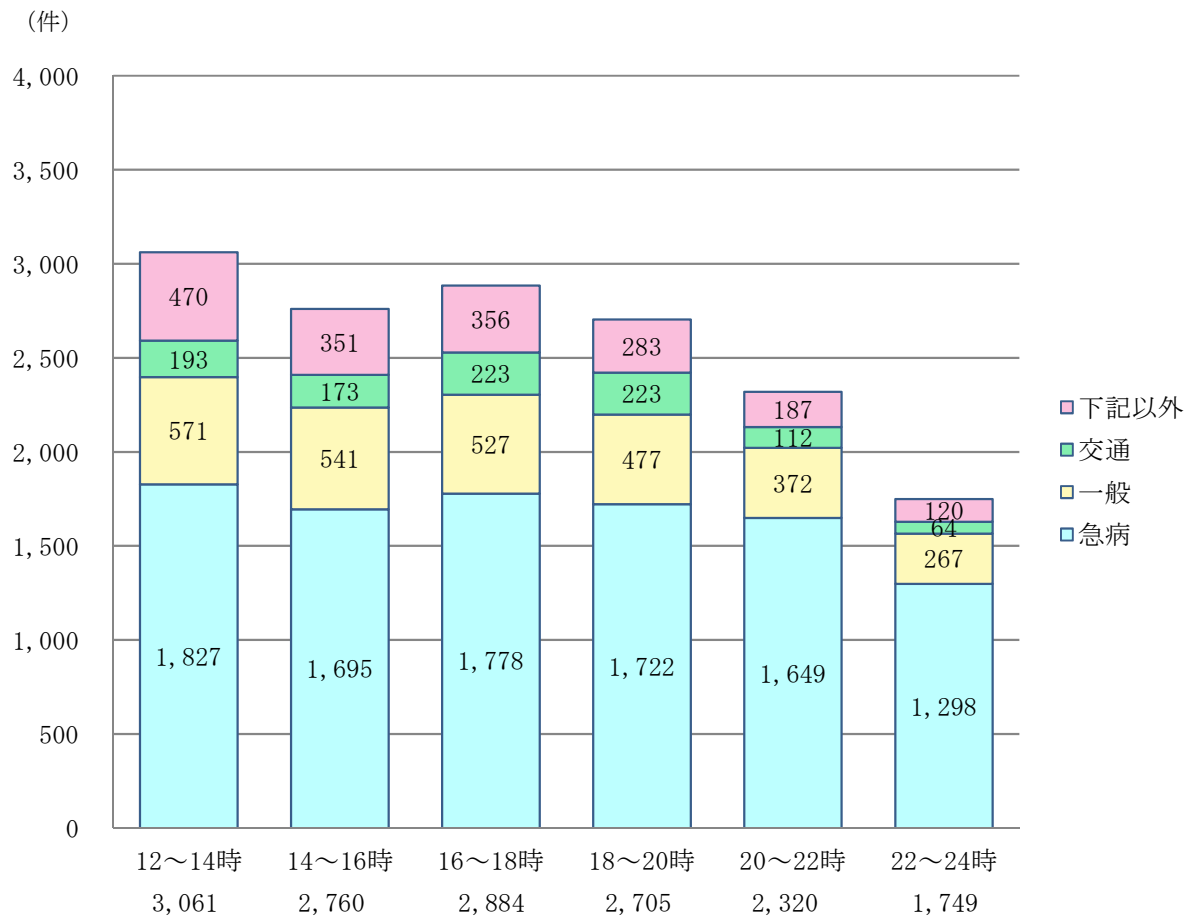
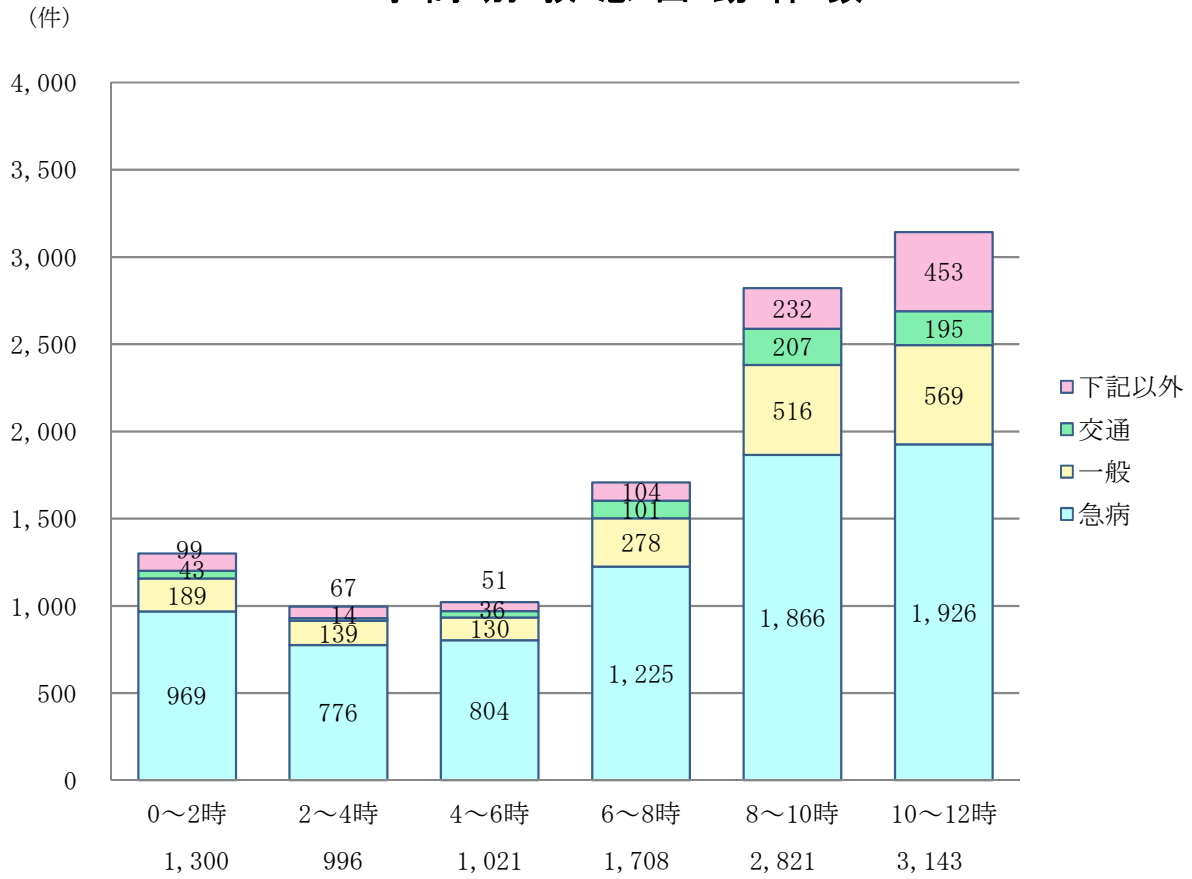
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	合計	救急告示医療機関					その他の医療機関				合計				その他の場所
		国・公立	公 立 的	私 的		国・公立	公 立 的	私 的		国・公立	公 立 的	私 的		計	
				病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所		
合計	23,401	6,017	19	10,061	1	926	6	6,252	119	6,943	25	16,313	120	23,401	0
比率	100%	68.8%					31.2%				29.8%	70.2%		100%	0.0%
市内	19,838	4,683		9,162				5,886	107	4,683		15,048	107	19,838	
市外	3,563	1,334	19	899	1	926	6	366	12	2,260	25	1,265	13	3,563	

隣接都市救急応援（被応援）出動状況

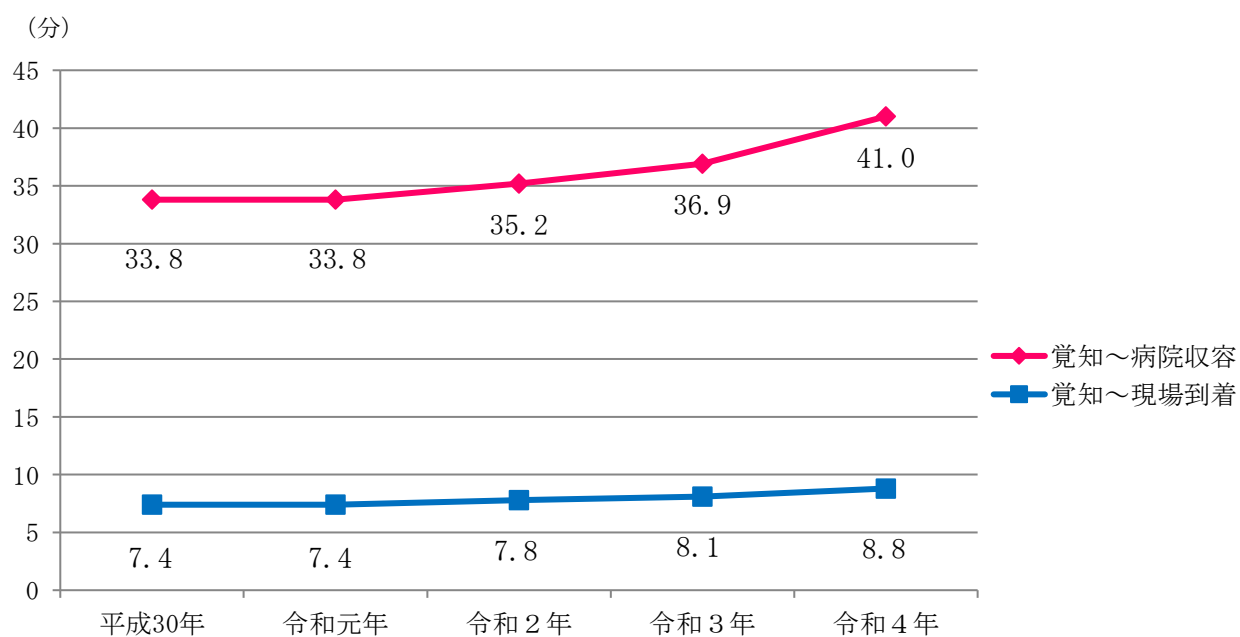
医療機関別		出動件数	出動人員	出動台数
合計	応援	36	108	36
	被応援	26	78	26
尼崎市	応援	6	18	6
	被応援	12	36	12
宝塚市	応援	11	33	11
	被応援	8	24	8
芦屋市	応援	11	33	11
	被応援	5	15	5
神戸市	応援	8	24	8
	被応援			
その他	応援			
	被応援	1	3	1

現場到着及び病院収容所要平均時間

(単位：分)

隊 別 区 分	市 計	消 防 局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
覚知～現場到着	8.8	11.3	8.8	9.2	7.9	8.8	8.7	9.4	10.1	9.4
覚知～病院収容	41.0	89.5	38.8	42.7	38.7	40.1	39.8	43.6	57.0	49.9

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移



応急処置等の状況

応急処置	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	23,382	15,509	1,483	4,253	2,137
止血	422	83	44	265	30
固定	580	8	311	174	87
人工呼吸	93	75	2	4	12
胸骨圧迫	6	6			
心肺蘇生	424	364	7	22	31
酸素吸入	4,230	3,342	106	262	520
気道確保	619	519	15	47	38
経鼻エアウェイ	3	3			
喉頭鏡等を使用した異物除去	15	5		10	
ラリングアルチューブ等	76	69		2	5
気管挿管	24	20		4	
用手による気道確保	501	422	15	31	33
保温	208	115	36	27	30
被覆	1,555	60	353	1,023	119
在宅療法継続	269	243		23	3
除細動	15	14			1
薬剤投与	35	31		1	3
その他の応急処置	20,724	13,715	1,337	3,768	1,904
血圧測定	21,879	14,500	1,436	3,967	1,976
聴診器による心音・呼吸音の聴取	8,357	6,875	378	651	453
血中酸素飽和度の測定	22,921	15,145	1,475	4,202	2,099
心電図	10,451	8,605	222	845	779
静脈路確保	80	72	2	3	3
うちC P A前	33	29	1	1	2
うちC P A後	47	43	1	2	1
血糖測定	347	336	3	3	5
エピペン投与	0				
ブドウ糖投与	27	27			

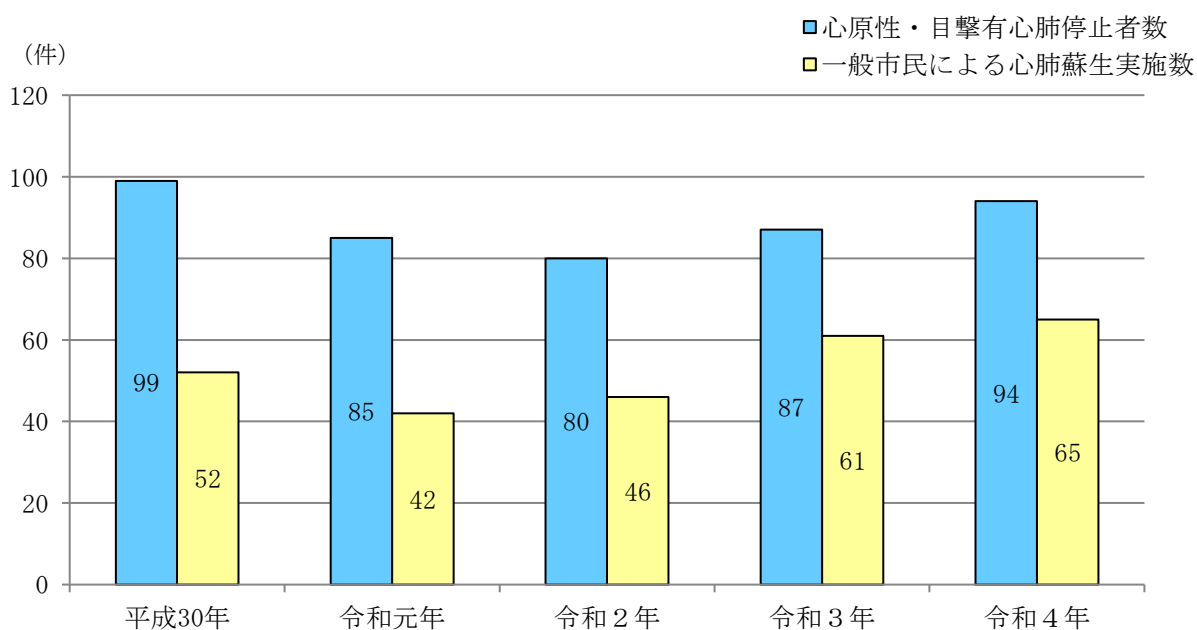
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
出動件数	45	34	2	3	6
対象者数	45	34	2	3	6
医療機関収容者数	25	19	2	2	2

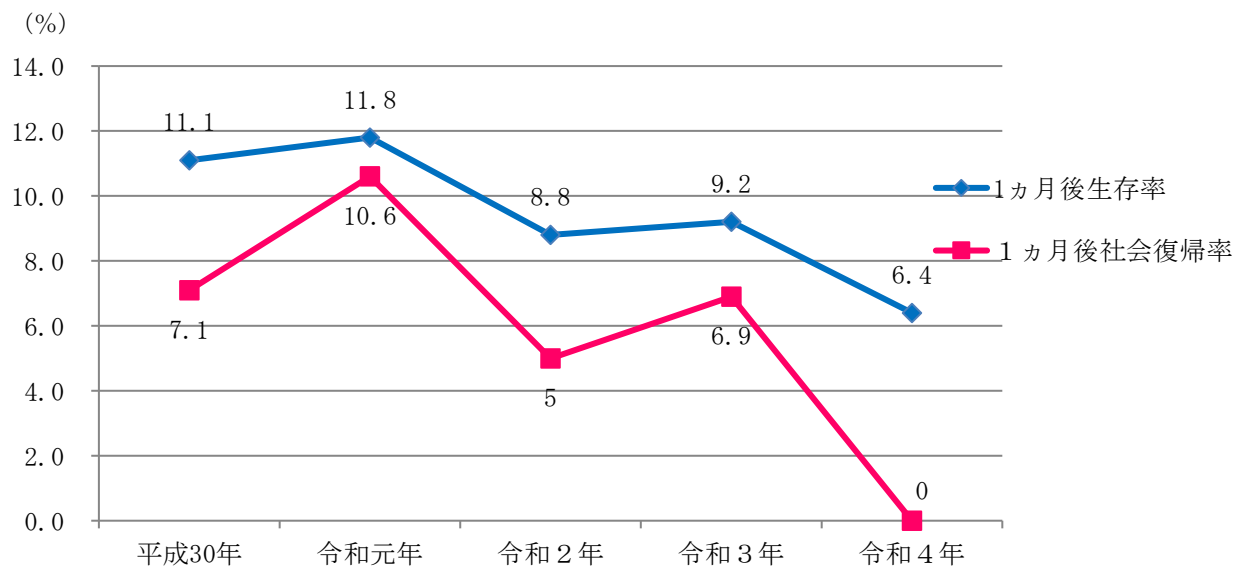
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
94	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
6	0

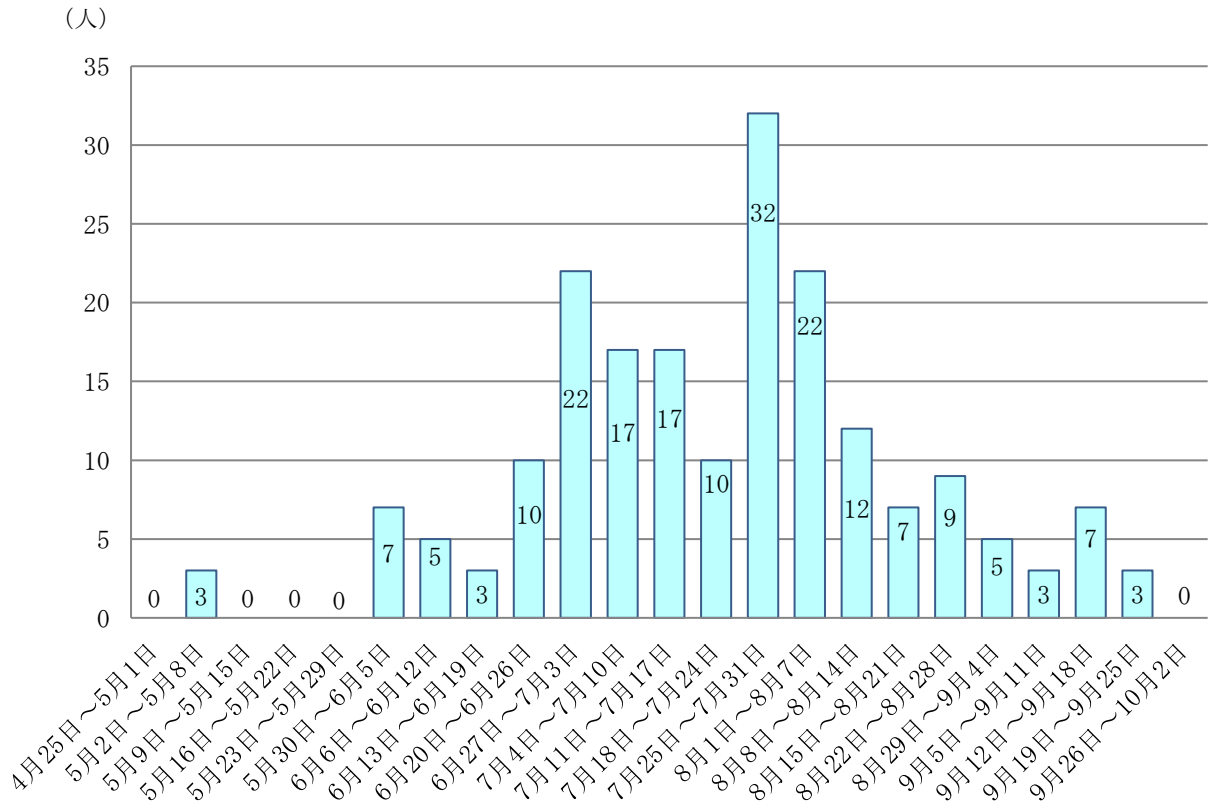
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



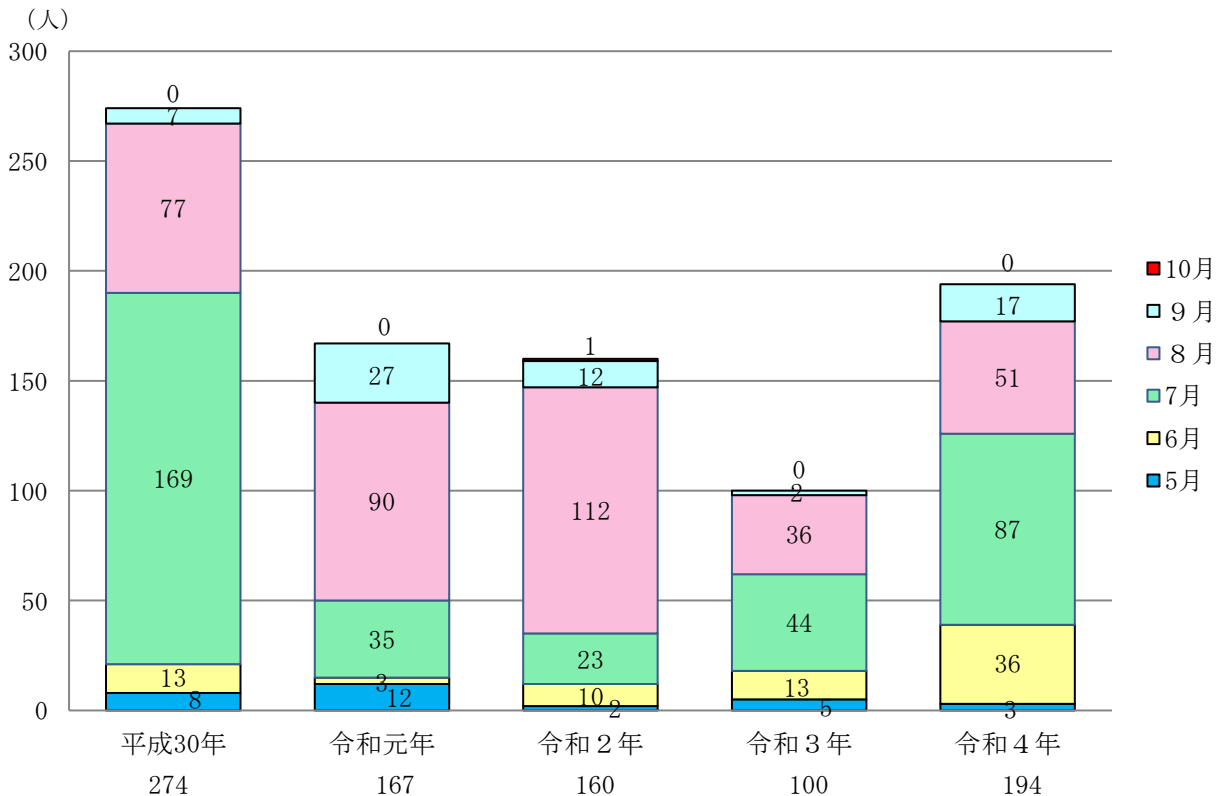
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区 分 事故種別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度				出 動 人 員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症		そ の 他
合 計	26,468	23,318	3,150	23,401	11,228	12,173	118	744	9,425	13,114	0	79,475
火 災	13	11	2	11	1	10		4	2	5		39
自 然 災 害	1	1		1		1				1		3
水 難	7	2	5	2	2			1	1			21
交 通	1,584	1,431	153	1,484	830	654	1	47	203	1,233		4,756
労 働 災 害	171	160	11	160	130	30		5	37	118		513
運 動 競 技	223	221	2	223	152	71			30	193		669
一 般 負 傷	4,576	4,249	327	4,255	1,791	2,464	3	234	1,158	2,860		13,738
加 害	85	69	16	70	34	36			4	66		255
自 損 行 為	208	151	57	151	46	105	10	13	74	54		625
急 病	17,535	15,491	2,044	15,512	7,492	8,020	103	375	6,540	8,494		52,657
そ の 他	2,065	1,532	533	1,532	750	782	1	65	1,376	90		6,199

救急隊別出動状況

隊別	区分	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
					合計	男	女	死亡	重症	中等症	軽症		その他
	合計	26,468	23,318	3,150	23,401	11,228	12,173	118	744	9,425	13,114	0	79,475
	消防局	4	2	2	2		2				2		12
西宮消防署	小計	9,442	8,302	1,140	8,328	4,025	4,303	37	318	3,336	4,637	0	28,366
	本署	6,998	6,127	871	6,147	2,997	3,150	25	274	2,299	3,549		21,029
	北夙川分署	2,444	2,175	269	2,181	1,028	1,153	12	44	1,037	1,088		7,337
鳴尾消防署	小計	7,910	6,944	966	6,969	3,364	3,605	39	146	2,790	3,994	0	23,741
	本署	6,013	5,250	763	5,266	2,522	2,744	31	94	2,085	3,056		18,039
	浜分署	1,897	1,694	203	1,703	842	861	8	52	705	938		5,702
瓦木消防署	小計	7,118	6,289	829	6,315	2,935	3,380	25	192	2,497	3,601	0	21,372
	本署	4,557	3,966	591	3,983	1,870	2,113	16	84	1,504	2,379		13,671
	甲東分署	2,561	2,323	238	2,332	1,065	1,267	9	108	993	1,222		7,701
北消防署	小計	1,994	1,781	213	1,787	904	883	17	88	802	880	0	5,984
	本署	997	869	128	872	438	434	10	45	381	436		2,993
	山口分署	997	912	85	915	466	449	7	43	421	444		2,991

月別・曜日別救急出動状況

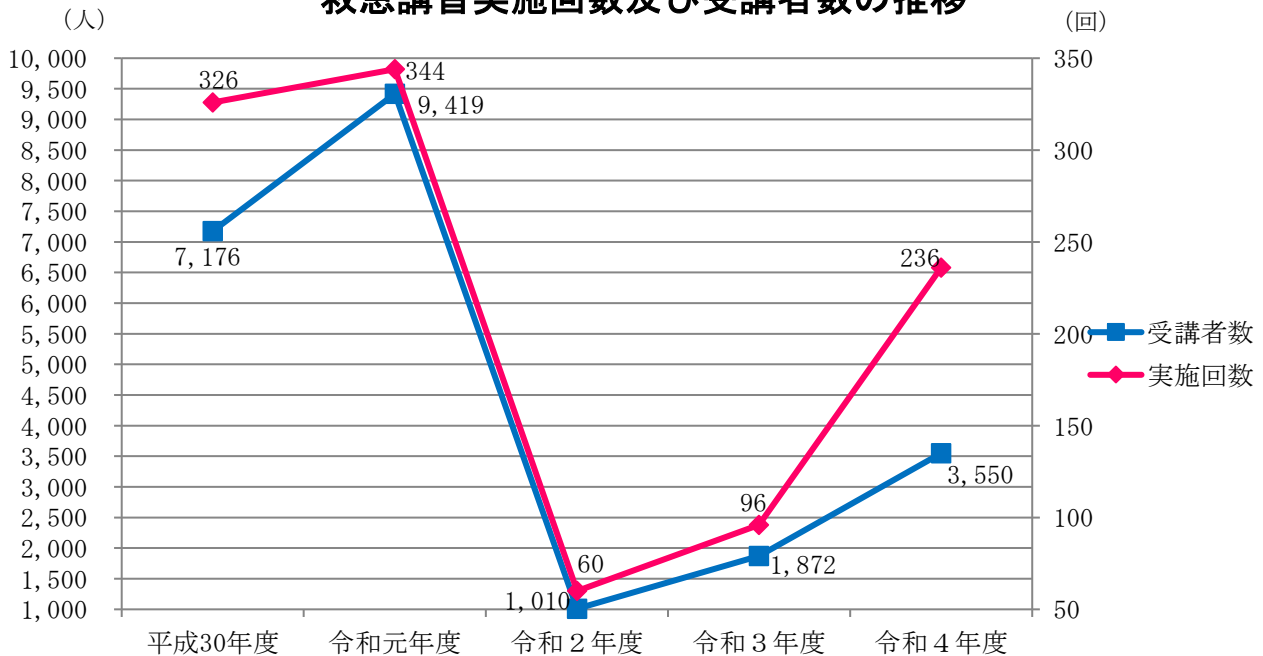
区分 事故種別	月別												合 計	曜 日 別						
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2								
合計	2,191	1,967	2,018	1,975	1,992	2,031	2,737	2,700	2,067	2,165	2,080	2,545	3,752	3,905	3,663	3,688	3,684	3,814	3,962	
火 災	1	2			1	2	1	2		2	1	1	1	6		1	3	2		
自然災害									1					1						
水 難		1		1				2		1		2	1	1			3	1	1	
交 通	118	119	110	121	127	132	164	123	132	127	170	141	148	256	239	230	242	236	233	
労働災害	10	1	14	14	12	15	29	28	17	4	11	16	12	17	25	34	26	26	31	
運動競技	9	5	14	18	18	27	30	26	15	31	18	12	41	18	20	33	23	27	61	
一般負傷	435	359	378	343	336	346	372	361	340	418	387	501	685	646	602	657	635	658	693	
加 害	8	8	4	10	7	8	5	5	3	7	10	10	11	14	8	14	11	12	15	
自損行為	11	10	15	18	22	23	19	15	19	21	17	18	25	42	21	25	35	31	29	
急 病	1,413	1,317	1,296	1,307	1,312	1,331	1,911	1,957	1,375	1,360	1,295	1,661	2,615	2,595	2,442	2,386	2,399	2,504	2,594	
そ の 他	186	145	187	143	157	147	206	181	165	194	171	183	213	309	306	308	307	317	305	

所属別救急講習実施状況

(令和4年度中)

隊 別		合 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
指導員講習	回数	1	1								
	人数	18	18								
普及員講習	回数	38	38								
	人数	196	196								
上級救命講習	回数	1	1								
	人数	9	9								
普通救命講習	回数	79	37	9	0	5	5	13	8	0	2
	人数	734	368	52	0	45	33	150	73	0	13
救命入門コース	回数	57	2	5	12	17	3	8	2	2	6
	人数	938	26	44	468	156	23	112	13	9	87
その他の講習	回数	60	0	6	5	11	1	8	10	13	6
	人数	1,655	0	65	157	383	5	129	225	423	268
合 計	回数	236	79	20	17	33	9	29	20	15	14
	人数	3,550	617	161	625	584	61	391	311	432	368

救急講習実施回数及び受講者数の推移



救 助 統 計



兵庫県下国際消防救助隊合同訓練

救 助 の 概 要

1 概況

令和4年中の救助出動件数は551件、救助活動件数は343件、救助人員は277人となっている。

前年と比較すると、出動件数で70件、活動件数で53件、救助人員で43名増加している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災4件（1%）、交通事故31件（5%）、水難事故7件（1%）、機械事故2件（1%）、建物事故238件（43%）、ガス・酸欠事故5件（1%）、その他の事故264件（48%）となっている。

前年と比較すると、交通事故で4件、建物事故で7件、ガス・酸欠事故で2件、その他の事故で60件増加し、水難事故で2件、機械事故で1件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災4件（1%）、交通事故13件（4%）、水難事故4件（1%）、機械事故2件（1%）、建物事故214件（62%）、ガス・酸欠事故5件（2%）、その他の事故101件（29%）となっている。

前年と比較すると、交通事故で3件、建物事故で25件、ガス・酸欠事故で3件、その他の事故で24件増加し、水難事故で2件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災4人（1%）、交通事故14人（5%）、水難事故4人（1%）、機械事故2人（1%）、建物事故218人（79%）、ガス・酸欠事故6人（2%）、その他の事故29人（11%）となっている。

前年と比較すると、交通事故で4人、建物事故で33人、ガス・酸欠事故で4人、その他の事故で4人増加し、火災で2人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス・	裂	の
			故	事	事	災	事	事	酸	事	事
			故	故	害	害	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	551	4	31	7	0	2	238	5	0	264
	活動件数	343	4	13	4	0	2	214	5	0	101
	救助人員	277	4	14	4	0	2	218	6	0	29
	出動台数	1,250	49	116	37	0	4	463	11	0	570
	出動人員	4,471	215	426	142	0	12	1,620	39	0	2,017
西 宮	出動件数	181	1	8				75	2		95
	活動件数	106	1	2				69	2		32
	救助人員	87	1	2				73	2		9
	出動台数	390	12	27				147	4		200
	出動人員	1,534	52	105				580	16		781
鳴 尾	出動件数	216	2	8	6		2	98	3		97
	活動件数	145	2	4	3		2	86	3		45
	救助人員	114	2	4	3		2	86	4		13
	出動台数	489	24	23	32		4	192	7		207
	出動人員	1,670	99	84	123		12	632	23		697
瓦 木	出動件数	115	1	8	1			53			52
	活動件数	71	1	5	1			48			16
	救助人員	58	1	5	1			47			4
	出動台数	267	13	32	5			103			114
	出動人員	925	64	115	19			339			388
北	出動件数	39		7				12			20
	活動件数	21		2				11			8
	救助人員	18		3				12			3
	出動台数	104		34				21			49
	出動人員	342		122				69			151

発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			551	4	0	31	7	0	2	238	5	0	264	
屋 内	住 居		472	4		1				237	2		228	
	その他の屋内		8						2	1			5	
屋 外	道 路	名 神 高 速	1			1								
		中国自動車道	2			2								
		山陽自動車道	2			2								
		阪 神 高 速	0											
		一 般 道 路	23			20					2		1	
	内 水	河 川	7			2	2							3
		湖 ・ 沼	0											
		池	0											
		プ ー ル	0											
		そ の 他	0											
	外 水 面	海	5				5							
		そ の 他	0											
		山 岳	7											7
		そ の 他	24			3					1			20
	地 下	0												
	そ の 他	0												

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	551	343	277	4	31	7	0	2	238	5	0	264	444	103	0	4
1月	47	26	16		3				19			25	34	13		
2月	44	31	29	1	1	1			26			15	37	7		
3月	45	24	21		4				20	1		20	41	4		
4月	51	32	27		2	1			23			25	42	9		
5月	37	25	19		3	1			14			19	27	10		
6月	45	21	16		3	1			21			20	35	10		
7月	52	32	28		3				19	2		28	43	9		
8月	47	31	22		1	1		1	20			24	36	11		
9月	44	29	24		3				24			17	32	11		1
10月	45	23	19	1	4	1			12			27	37	8		
11月	47	33	28	1	4			1	17			24	39	6		2
12月	47	36	28	1		1			23	2		20	41	5		1

救助出動状況の推移

年 別 区 分		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
		出 動 件 数		460 件		436 件		450 件		481 件	
事 故 種 別	火 災	8	1.7%	8	1.8%	7	1.6%	4	0.8%	4	0.7%
	交 通	36	7.8%	40	9.2%	38	8.4%	27	5.6%	31	5.6%
	水 難	11	2.4%	4	0.9%	10	2.2%	9	1.9%	7	1.3%
	自 然	5	1.1%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	12	2.6%	2	0.5%		0.0%	3	0.6%	2	0.4%
	建 物	205	44.6%	202	46.3%	216	48.0%	231	48.0%	238	43.2%
	ガス・酸欠	1	0.2%	1	0.2%	5	1.1%	3	0.6%	5	0.9%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	182	39.6%	179	41.1%	174	38.7%	204	42.5%	264	47.9%
活 動 件 数		303 件		282 件		278 件		290 件		343 件	
事 故 種 別	火 災	8	2.7%	8	2.8%	7	2.5%	4	1.4%	4	1.2%
	交 通	20	6.6%	20	7.1%	14	5.1%	10	3.4%	13	3.8%
	水 難	9	3.0%	3	1.1%	9	3.2%	6	2.1%	4	1.2%
	自 然	3	1.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	8	2.6%	1	0.3%		0.0%	2	0.7%	2	0.6%
	建 物	178	58.7%	169	59.9%	178	64.0%	189	65.2%	214	62.3%
	ガス・酸欠		0.0%	1	0.4%	4	1.4%	2	0.7%	5	1.5%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	77	25.4%	80	28.4%	66	23.8%	77	26.5%	101	29.4%
救 助 人 員		259 人		242 人		224 人		234 人		277 人	
事 故 種 別	火 災	4	1.5%	7	2.9%	3	1.3%	6	2.6%	4	1.4%
	交 通	27	10.4%	27	11.2%	16	7.1%	10	4.3%	14	5.1%
	水 難	6	2.3%	3	1.2%	8	3.6%	4	1.7%	4	1.4%
	自 然	2	0.8%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	8	3.1%	1	0.4%		0.0%	2	0.9%	2	0.7%
	建 物	174	67.2%	169	69.8%	174	77.7%	185	79.0%	218	78.7%
	ガス・酸欠		0.0%	1	0.4%	2	0.9%	2	0.8%	6	2.2%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	38	14.7%	34	14.1%	21	9.4%	25	10.7%	29	10.5%
内 訳	男 性	113 人		114 人		114 人		115 人		130 人	
	女 性	146 人		128 人		110 人		119 人		147 人	
出 動 台 数		1088 台		1,043 台		1,072 台		1,095 台		1,250 台	
出 動 人 員		3,914 人		3,800 人		3,931 人		4,013 人		4,471 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
	合計		5	27	101
		16	72	247	3
尼崎市		3	15	56	2
		12	58	201	3
宝塚市		1	6	20	1
		2	8	25	-
芦屋市		1	6	25	-
		1	3	9	-
三田市		-	-	-	-
		1	3	12	-
神戸市		-	-	-	-
		-	-	-	-

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(令和5年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器		アセチレン	
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		449	9	378	0	42	20	7	1	6	0
局		5				5		0			
		4	4					0			
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		67	5	62				0			
西宮	北夙川	0						0			
		30		30				0			
鳴尾	本署	14				9	5	2		2	
		64		64				0			
鳴尾	浜	0						0			
		31		31				0			
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		69		69				0			
瓦木	甲東	0						0			
		36		36				0			
北	本署	12				6	6	2		2	
		53		53				0			
北	山口	0						0			
		33		33				0			

※ 下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(令和5年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	18	2	4	4	4	4
三連はしご	22	2	6	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	45	8	9	13	9	6
油圧ジャッキ	13		4	3	4	2
油圧スプレッダー	18		6	5	5	2
可搬式ウインチ	11	3	2	2	2	2
マンホール救助器具	6	1	1	1	2	1
エンジンカッター	29	1	9	6	8	5
ガス溶断機	3		1	1	1	
チェーンソー	28		6	7	8	7
各種ガス酸素濃度測定器	21	2	7	3	3	6
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	202	18	52	40	47	45
携帯投光器	19	3	5	3	5	3
携帯警報器(モーションスカウト)	213	18	55	44	48	48
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	2				1	1
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	1		1			
電磁波探查装置	1		1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	4		2	2		
潜水器具一式	23	5	5	4	5	4
救命ボート	13		3	3	3	4
船外機	3		1	1	1	
バスケット担架	9	1	2	2	3	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	16		4	4	4	4
ハンマドリル	17	1	4	4	5	3
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	59		50			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	4		1	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
除染シャワー	3		1			2
チェーンブロック	0					
簡易画像探索機	3		1	1		1
*化学剤検知測定器	4	1	1			2

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



消防指令室

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

- (1) 無線設備
 - ア 車載型無線機2台（にししょうはま1、にししょうきょく12）及び携帯型無線（にししょうはま101）を新規整備した。
 - イ 署活動用無線機21台を更新し、5台を新規整備した。（総数281台）
 - ウ 署活動用無線機用バッテリー42個を更新した。
 - エ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の令和4年度における保守について保守契約を締結し、無線設備の適正な維持管理を行った。
- (2) 有線設備
 - ア 情報送受信等における通信網確保のため、指令課及び北消防署のファクシミリを更新した。
 - イ 浜分署の電話設備を更新した。

2 通信業務対応能力の向上

- (1) 研修及び訓練
 - ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修を実施するとともに、阪神地区消防長会救急隊員研修会を受講した。また、外部講師を招いての口頭指導研修及び口頭指導シミュレーション訓練を実施した。
 - イ 実災害をもとに検討会を実施し、災害対応能力の強化を図った。
 - ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
 - エ 消防緊急情報システムの円滑な操作技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。
 - オ 局内職員を対象とした順次指令装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
 - カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
 - キ 異動者に対して重点的に研修を実施し、指令業務の早期習得を図った。
 - ク 消防局内の指令課勤務経験者に対して指令課実務研修を実施し、各種感染症などで通信指令員に欠員が生じた場合や、大規模災害時の通信指令員の補完体制を確立した。
 - ケ 可搬型指令システム取扱訓練及び北消防署集中受信訓練並びに西宮消防署からのリモート指令訓練を実施し、消防指令室での119番回線遮断時の対応能力の向上を図った。
 - コ 中小規模災害で複数傷病者の発生を想定し、兵庫県広域災害・救急医療情報システムを使用したエリア災害訓練を実施した。
 - サ 各所属職員が消防指令室での勤務を体験することにより、指令業務に対する理解が深まるよう実務研修を実施した。
- (2) 広報
 - 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）について、市政ニュース及びさくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適切な119番の利用と通報要領を啓発するとともに、Live119の周知及び協力依頼を発信した。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

(1) 消防緊急情報システムの運用管理

令和3年度より運用している消防緊急情報システムを最大限に駆使し、統合型位置情報通知システム、地図情報、現場映像共有機能、防災情報システムとの連携機能等を活用して、迅速・確実な指令体制を確立した。

また、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、通信指令員のシステム復旧までの対応技術や危機管理体制の向上を図った。

(2) 消防緊急情報システムの維持

年間計画によるシステム機器の定期点検を確実にを行い、障害発生の未然予防及びシステム機器の機能維持を図った。

また、各署と連携して各種支援情報を随時更新し、データ等を常に最新の状態に保ち、円滑な現場活動につなげた。

(3) 個人情報の保護

消防緊急情報システムは、出動事案情報から市の保有する福祉情報まで多くの個人情報を取り扱うため、西宮市情報セキュリティポリシー及び西宮市消防緊急情報システムの運用に関する情報セキュリティ実施手順に基づき、個人情報保護とセキュリティ確保に努めた。

消防通報用電話（119番）受信状況

種別 月別	緊急通報					その他							総 受 信 件 数	1 日 平 均	内 部 テ ス ト	内 部 研 修	内 部 を 含 む 総 計	1 日 平 均	
	小 計	火 災	救 急	救 助	その 他の 災 害	小 計	間 違 い	いた ず ら	通 報 訓 練	病 院 問 合 せ	無 応 答	そ の 他							
1月	2,216	19	2,127	27	43	786	86	20	31	304	112	233	3,002	96.8	7		3,009	97.1	
	653	2	639	3	9	147	15	3	7	69	12	41	800				800		
	1,129	15	1,068	21	25	482	52	10	3	205	88	124	1,611			2			1,613
2月	1,993	31	1,902	31	29	812	87	34	32	264	97	298	2,805	100.2	21		2,826	100.9	
	573	5	562	1	5	140	11		10	55	5	59	713			5			718
	1,003	20	940	26	17	507	50	18	1	185	75	178	1,510			11			1,521
3月	2,061	9	1,965	36	51	798	110	12	71	229	116	260	2,859	92.2	18	3	2,880	92.9	
	564	26	530	3	5	146	15	1	23	51	14	42	710			7			717
	1,086	5	1,020	26	35	456	76	3	6	163	78	130	1,542			9	3		1,554
4月	2,019	21	1,920	39	39	724	90	19	35	222	105	253	2,743	91.4	27	12	2,782	92.7	
	563		556	3	4	99	4	1	13	50	6	25	662						662
	1,093	14	1,016	30	33	443	63	9	1	152	85	133	1,536			18	5		1,559
5月	2,034	25	1,960	23	26	792	106	17	52	251	86	280	2,826	91.2	8	3	2,837	91.5	
	546	4	537	4	1	135	8	2	28	50	4	43	681						681
	1,114	18	1,059	16	21	464	63	7	2	174	77	141	1,578			4	2		1,584
6月	2,049	7	1,966	35	41	818	92	16	87	230	100	293	2,867	95.6	48		2,915	97.2	
	544		537	3	4	133	10	1	31	50	6	35	677						677
	1,134	4	1,078	25	27	463	57	7	3	159	87	150	1,597			31			1,628
7月	2,789	4	2,697	42	46	1,189	134	26	40	466	142	381	3,978	128.3	8	2	3,988	128.6	
	712		705	2	5	193	11	4	13	105	7	53	905						905
	1,560	4	1,490	37	29	772	83	9	3	318	128	231	2,332			7			2,339
8月	2,741	9	2,656	27	49	1,111	92	11	20	491	135	362	3,852	124.3	1		3,853	124.3	
	697		688	2	7	173	10	1	6	79	16	61	870						870
	1,545	7	1,485	18	35	779	64	9	2	369	112	223	2,324			1			2,325
9月	2,095	4	2,022	29	40	777	90	16	59	224	107	281	2,872	95.7	5	1	2,878	95.9	
	562		558	1	3	131	13	1	29	51	5	32	693						693
	1,138	4	1,077	23	34	479	64	5	3	152	91	164	1,617			1			1,618
10月	2,206	7	2,105	34	60	810	121	14	94	238	116	227	3,016	97.3	20	4	3,040	98.1	
	624	1	614	2	7	130	16	1	29	50	2	32	754						754
	1,192	4	1,131	27	30	465	72	8	6	165	103	111	1,657			7	2		1,666
11月	2,102	10	2,023	37	32	814	108	19	126	212	92	257	2,916	97.2	17	2	2,935	97.8	
	605	2	600	2	1	163	13	3	49	48	5	45	768						768
	1,145	8	1,082	30	25	419	60	9	5	144	73	128	1,564			8	2		1,574
12月	2,585	14	2,496	41	34	959	101	13	68	350	115	312	3,544	114.3	5	5	3,554	114.6	
	703		697	2	4	177	5	2	19	87	10	54	880						880
	1,431	13	1,361	30	27	578	69	9	5	234	95	166	2,009			2	5		2,016
合計	26,890	160	25,839	401	490	10,390	1,217	217	715	3,481	1,323	3,437	37,280	102.1	185	32	37,497	102.7	
	7,346	40	7,223	28	55	1,767	131	20	257	745	92	522	9,113			12			9,125
	14,570	116	13,807	309	338	6,307	773	103	40	2,420	1,092	1,879	20,877			101	19		20,997
1日 平均	73.7	0.4	70.8	1.1	1.3	28.5	3.3	0.6	2.0	9.5	3.6	9.4	102.1		0.5	0.1	102.7		
割合 %	72.1	0.4	69.3	1.1	1.3	27.9	3.3	0.6	1.9	9.3	3.5	9.2	100.0		0.5	31.1			

※ 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数、下段は携帯電話の119番受信件数

※ 種別～その他のその他は、災害に関する照会等

※ 1日平均は、小数点第2位を四捨五入

消防通信施設の状況

令和5年4月1日現在

区分	119報知専用電話	119転送回線	加入電話			携帯衛星電話	消防電話交換機	消防電話業務					指令			位置情報通知システム(統合型)	高所カメラシステム	現場映像伝送装置	気象情報システム	フェニックス防災システム等	無線設備										
			一般加入	消防テレホンサービス	順次指令装置			衛星電話	自働交換機	電話業務回線	指令台	指令端末	指令回線	直通回線	出動分団指令システム						基地局	陸上移動局						携帯局	衛星通信		
																						固定型	車載型	可搬型	可搬型	携帯型	携帯型			携帯型	衛星通信
合計	18	4	74 (4)	14	5	30	76	3	1	435	21	7	9	9	4	37	2	3	29	1	4	3	6	118	7	2	88	22	281	27	2
消防局	18	4	32	5	5	30	10	2	1	123	1	7	1	1			2	3	4	1	4	1		9	3	1	23	6	34		1
整備センター			3	1			11			7	2													11			10			1	
西宮			5	1			9			110	2		1	1					4				1	11	1		13	2	46	1	
北夙川			4	1			5			16	2		1	1					2				1	5			6	2	22	1	
鳴尾			5	1			9			31	2		1	1					4				1	9	1		2	39	12		
浜			4	1			5			35	2		1	1					2				1	6			2	22	8		
瓦木			5	1			9			25	2		1	1					4				1	9	1		11	2	38	1	
甲東			4	1			5			47	2		1	1					2				1	5			6	2	22	1	
北			8 (4)	1			8	1		25	2		1	1					5			1	9	1		13	2	36	1	1	
山口			4	1			5			14	2		1	1					2			1	5		1	6	2	22	1		
消防団																37								39							
医療機関										2	2																				
警察署														2																	
大阪ガス																															
高速道路															2																

- ※ 一般加入は、発信及び着信専用含む
- ※ 一般加入の()は、集中受信システム回線数
- ※ 119転送回線は、受信専用回線
- ※ フェニックス防災システム等は、フェニックス防災システム、兵庫県広域災害・救急医療情報システム、兵庫県衛星通信ネットワークシステム、兵庫県高所カメラ映像等伝送システムを含む

気象情報等月別発令状況

種別	月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
警 報	大	雨	2									2						
	洪	水	0															
	暴	風	5									5						
	波	浪	5									5						
	高	潮	3									3						
	大	雪	0															
	津	波	0															
	小	計	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0		
注 意 報	大	雨	26				1			8	8	6		2	1			
	洪	水	4							2		1		1				
	強	風	93	6	7	7	8	4	8	12	4	6	5	11	15			
	波	浪	103	10	8	7	8	4	8	12	4	6	5	11	20			
	高	潮	13							1	4	6	2					
	津	波	0															
	大	雪	2												2			
	風	雪	10	4	1										5			
	着	雪	2												2			
	な	だ	れ	0														
	濃	霧	25	1		6	4		4	1			1	6	2			
	低	温	1	1														
	雷	霜	164	7	4	6	9	9	18	32	30	23	5	8	13			
	乾	燥	75	13	16	12	7	6	3				6	4	8			
	着	氷	0															
小	計	524	42	36	43	38	23	41	68	50	48	24	43	68				
情 報	雨		55				4	6		22	17	6						
	雪		31	7	8									1	15			
	雷		44			1		1	5	6	17	6	4	3	1			
	高	波	39	7	5	5				2				3	17			
	低	温	0															
	高	温	0															
	台	風	21							4		17						
	梅	雨	0															
	強	風	79	7	2	6			5	11	17	6	4	3	18			
	寒	気	0															
	春	一	番	0														
	気	圧	配	置	0													
	津	波	0															
	地	震	3	1		2												
	日	照	不	足	0													
	そ	の	他	26					1	6	7	7	1	4				
	火	災	気	象	通	報	301	39	51	30	25	12	16	17	4	13	18	15
光	化	学	ス	モ	グ	1												
小	計	600	61	66	44	29	20	32	70	62	49	30	25	112				
合	計	1,139	103	102	87	67	43	73	138	112	112	54	68	180				

発令された防災指令等

災 害 警 戒 指 令	0														
防 災 指 令 第 1 号	0														
防 災 指 令 第 2 号	0														
防 災 指 令 第 3 号	0														
水 防 警 戒 指 令	1										1				
水 防 指 令 第 1 号	0														
水 防 指 令 第 2 号	0														
水 防 指 令 第 3 号	0														
国 土 大 臣 が 発 する 水 防 警 報	0														
火 災 警 報	0														
火 災 注 意 報	0														
合 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

消防テレホンサービス利用状況

(令和4年度中)

	利用件数	1日平均利用件数
4月	248	8
5月	285	9
6月	221	7
7月	297	10
8月	359	12
9月	336	11
10月	296	10
11月	328	11
12月	367	12
1月	349	11
2月	280	10
3月	416	13
合 計／平均	3,782	10

※ 1日平均利用件数は小数点第1位で四捨五入

車 両 整 備



消防ポンプ自動車

車 両 整 備 の 概 要

令和4年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、高規格救急自動車2台、消防ポンプ車1台及び査察広報車1台を更新し、また、消防ポンプ車1台を増車することにより、消防及び救急体制の充実強化を図った。

- 1 高規格救急自動車
鳴尾消防署、甲東分署に高規格救急自動車を購入した。
- 2 消防ポンプ自動車
浜分署及び甲東分署に消防ポンプ自動車を購入した。
- 3 査察広報車
北消防署に査察広報車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
高 規 格 救 急 自 動 車	甲 東 9	令 和 4 年 9 月 30 日	甲 東 分 署	更 新
高 規 格 救 急 自 動 車	鳴 尾 9	令 和 4 年 10 月 28 日	鳴 尾 消 防 署	更 新
消 防 ポ ン プ 自 動 車	甲 東 1	令 和 4 年 12 月 12 日	甲 東 分 署	更 新
消 防 ポ ン プ 自 動 車	浜 1	令 和 5 年 3 月 9 日	浜 分 署	増 車
査 察 広 報 車	北 6	令 和 4 年 12 月 23 日	北 消 防 署	更 新

点 検 整 備 等

(単位：台)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		37	67	93	160	739
消 防 局		10	9	27	36	194
西 宮	小 計	7	22	15	37	148
	本 署	6	18	8	26	100
	北夙川	1	4	7	11	48
鳴 尾	小 計	7	15	15	30	131
	本 署	3	9	11	20	85
	浜	4	6	4	10	46
瓦 木	小 計	7	9	19	28	133
	本 署	5	9	10	19	84
	甲 東	2	/	9	9	49
北	小 計	6	12	17	29	133
	本 署	3	10	11	21	84
	山 口	3	2	6	8	49

消 防 団



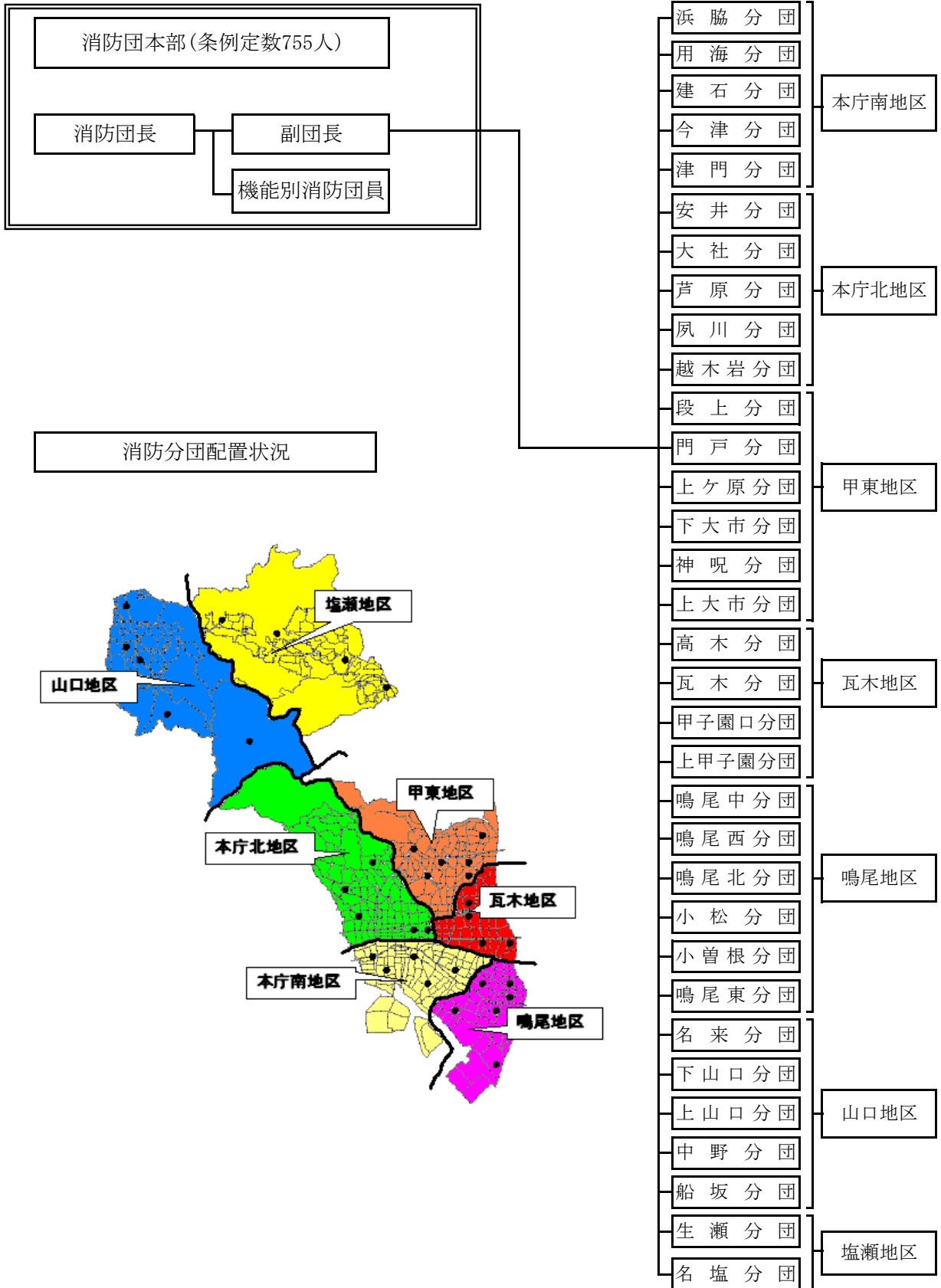
避難用ゴムボート取扱訓練

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成7年 1 月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材(8品目)を33分団に配置完了(4年計画)
平成11年 1 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工

平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工
平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足
平成21年 8 月	避難用ゴムボートを13分団に配置
平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工
平成30年 12 月	中野分団車庫竣工
平成31年 3 月	門戸分団車庫竣工
令和 2 年 3 月	用海分団車庫竣工 生瀬分団新車庫竣工
令和 2 年 11 月	小松分団車庫竣工
令和 3 年 3 月	上山口分団金仙寺班車庫竣工
令和 4 年 3 月	今津分団車庫竣工
令和 5 年 1 月	安井分団車庫竣工

消防団の組織



消防団自動車現況

(令和5年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢 (年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 令和元	1. 7. 3	3	1,875	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	11	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	11	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	10	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	6	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	5	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	11	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	7	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	9	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	10	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	9	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	7	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	4	4,930	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	4	4,930	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	5	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	6	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	8	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	10	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	4	4,930	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	8	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	9	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	13	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	8	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	12	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	6	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	12	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	6	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	14	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 令和3	3. 1. 28	2	4,990	〃	シバウラ F T 300M
上 山 口 分 団	トヨタ 令和2	2. 2. 3	3	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	13	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	14	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	トヨタ 令和4	4. 12. 8	0	4,740	〃	シバウラ F T 300M
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	5	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	7	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	12	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	トヨタ 令和2	2. 2. 3	3	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 木之元班	トヨタ 令和4	4. 1. 28	1	4,690	〃	シバウラ F T 300M
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	14	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(令和5年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (うち女性)	682 (13)	1	7	33	36	37	109 (1)	459 (12)
5年未満 (うち女性)	116 (9)						2	114 (9)
5～9年 (うち女性)	127 (4)						10 (1)	117 (3)
10～14年	115			1	1	4	11	98
15～19年	79				3	3	13	60
20～24年	86			4	5	8	36	33
25～29年	66		1	10	8	10	21	16
30年以上	93	1	6	18	19	12	16	21

※ 団員平均 15年8ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(令和5年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	682	1	7	33	36	37	109	459
20歳未満	4							4
20～24歳	20							20
25～29歳	21							21
30～34歳	26						2	24
35～39歳	74						2	72
40～44歳	78				1		12	65
45～49歳	113			1	4	3	23	82
50～54歳	114			6	5	13	24	66
55～59歳	98			6	12	12	23	45
60歳以上	134	1	7	20	14	9	23	60

※ 団員平均 49歳2ヶ月

消防団費と市民負担

(令和5年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1 世帯当り	人 口 1 人 当 り
	168,593千円	740円	350円

消 防 団 出 動 状 況

(令和4年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水防・防災	警 戒	訓 練
出動回数	663	62		11	590
出動分団数	1,422	183		235	1,004
出動車両数	1,351	185		234	932
出動団員数	9,100	1,469		1,454	6,177

消 防 団 訓 練 実 施 内 容

(令和4年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	34	59	39	257
西宮市消防出初式	1	34		173
「文化財防火デー」に伴う消防訓練	1	1	2	20
西宮市消防団消防操法大会				
春の全国火災予防運動・訓練	7	167	168	647
西宮市総合防災訓練				
秋の全国火災予防運動・訓練	7	170	174	649
小学校区防災訓練				

派遣研修及び教育訓練実施状況

(令和4年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 能 別 団 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	操 縦 訓 練	資 器 材 取 扱 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	想 定 訓 練	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	80	2	1			7		7	51	10	2	
人 員	922	4	10			77		124	449	189	69	

※ 分団定例訓練は除く

公務災害等発生状況

(令和4年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別						傷 病 程 度 別								
				副 団 長 以 上	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	通 院			入 院			死 亡		
										一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月		一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上
公務災害	現場活動中	火災	0	0														
		警戒	0	0														
		水防 防災	0	0														
		その他	0	0														
		訓練中	0	0														
	一般業務中	0	0															
合 計		0	0															

団員の職業別

(令和5年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道	運 通 輸 信	卸 小 販 売	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他	学 生 職 等
682	20		94	77	27		53	94		20	24	164	31		78

表 彰

(令和4年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	4	13	11	35	44	18
西 宮 市 消 防 団	1					
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長	1	1				
分 団 長	2	3	6	8	2	
副 分 団 長			5	5	4	
部 長		2		7	5	
班 長		3		11	13	2
団 員		4		4	20	16

消 防 年 報

(令和4年版)

発 行 令和5年8月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0918

西宮市六湛寺町8番28号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん